

# 水泳

59

日本水上競技聯盟機關雜誌



N. S. R.

# 水 泳

No. 59

— 1938, 12. —

## 目 次

國民皆泳と世界記録	末弘 嚴太郎	( 2 )
歐洲水泳界の消息	鹽 田 正 典	( 8 )
昭和十三年度競泳界を顧みて	齋 藤 巍 洋	( 11 )
水泳の體育的價值と其普及に就て	金 子 魁	( 13 )
日本女子中等等校の今後	白 山 廣 子	( 24 )
水泳選手の胸型に就て	稻 玉 信 吾	( 25 )
簡易水球規則	笹 島 彦 次 郎	( 26 )
昭和十三年インターカレッジ觀戰記	横 尾 清 吾	( 16 )
全國中等學校選拔選手夏期合宿練習報告	川 合 嘉 助	( 27 )
出征乃至入營中の本聯盟役員消息		( 29 )
定例代議員會議事録		( 30 )
聯 盟 日 誌		( 32 )



# 國民皆泳と世界記録

日本水上競技聯盟會長

末 弘 嚴 太 郎

日本水上競技聯盟主催大朝後援の下に八月十九日夜大阪朝日會館に於て開かれた「國民皆泳の講演と映畫の會」席上に於ける末弘聯盟會長の「國民皆泳と世界記録」の講演は、國民皆泳こそは世界制覇の第一歩である事を強調し、スポーツをあらゆる角度から簡明に検討して剩すところなく、スポーツが單なるレコードを争ふが如き皮相な見方の誤謬を指摘した好個の講演であるので當夜の速記を掲載する事にした。

## 世界無比の歴史、理窟よりまづ泳げ

水上競技聯盟は一體何を今までして來たか、また今後何をしようとしてゐるか吾々水上競技聯盟と致しましては、昔からこの點については生きた根本の精神をもつてゐるのであります。

一般スポーツ界におきましては一つは事變の影響から急に何かスポーツ團體が在來とつて來た方針を變へなければならぬといふやうな風を感じたらしいやうな言葉が聞えて來た。

殊にオリンピック東京大會が取止めとなつたために急にまた今まで取つて來た方針を變へなければならぬといふ人が見えるのでありまして、それと吾々の水上競技聯盟がこれからやつて行かうといふ方針についての動き、發展といふものが混同される、ことは非常に困る、又それと混同されてゐることは今後吾々の水上競技聯盟がして行く仕事について悪い影響を與へるやうに思ひまして私の考へを申上げるわけであります。

今までわれわれはむづかしいことは考へないでたゞ泳げ、泳ぐからには上手に泳げといふ氣持であつた、それを世の中では此頃急に體位向上などとむづかしいことをいつて、何か水泳をすると體位が特に向上するから水泳をせねばならぬといふやうに理窟つぽいことをいふ人が増えて來た。

水泳をするといふと體位向上になるかも知れない

けれども、體位向上になるから水泳をしろといふのは、これは滋養になるから食へとかこれは藥になるから食へといつて物を食はせるやうなもので、そんなことより美味しいから食へば自ら滋養になり藥になる。そこがスポーツといふものゝ特長なのであります。私共水上競技聯盟の者としては「國民皆泳」といふことを基礎としてしかも世界何處の國の人よりも上手に泳がうといふのであります。

つまり國民のすべてが、泳ぎ目泳ぐ以上はよちよち泳がないで、最もうまく泳がうといふのであります。このことは一見何でもないやうなことでありますが、實は我が國には元來水泳に關する限り世界無比な特長があります。それは一つは日本位泳ぎについて古い歴史を持つてゐる國はないのであります。

## 家康も獎勵、泳ぎ上手は我が天性

私はこの間オリンピックに參りましたとき丁度ドイツの人がドイツの泳ぎの歴史の本を書いて讀んで呉れといつて來られたのでそれを讀みますとドイツ邊の泳ぎの歴史など實に新しいものである。

我が國の歴史を調べるために水上競技聯盟では大日本水泳資料集成といふ本を一昨年作つてをります。徳川家康は晩年に至るまで泳いで、二代將軍、三代將軍なども皆んな家康公の獎勵によつて非常に泳ぎを練習したといふやうな話がある。

これは世界のどの國にも、あゝいふ將軍格見たいな人がそんなに熱心に泳いだといふやうな話はないのでありまして日本の泳ぎの歴史は非常に古いのであります。従つて我々の血の中には優秀に泳ぐといふ天性が傳はつてゐるのであります。

外國人の泳ぎは飛び離れてうまいものが少しは出て來るのでありますが、日本人のやうにどの泳ぎ手も揃つて大體うまいといふチームはオリンピック邊に行つても見當らない、例へばロサンゼルスの時もすでにさうであります。ベルリンのオリンピックの

時に日本の水泳選手は全部豫選を通つて決勝に出てゐる。

私は最後のレースだけがレースなのだ、出た以上は皆最後のレースに出る、さうして決勝では皆んな助け合つてその内の一人が優勝するといふことを目標にして、全部がとにかく豫選を突破し決勝に残らなければいかん。

といふことは練習のときに始終申したのであります。幸ひにロサンゼルス、ベルリンにかけてその目的を實現することが出来たのは、練習の効果でもあります。が實は泳ぎの技術が皆んな揃つてうまいのであります。

これは偏に日本の泳ぎの歴史の賜であると思つてをります。

私はこれを名付けて「我國の泳ぎが外國と全く比較にならないだけの深さを持つてゐる」といふのであります。

### 數でも世界一だが油斷のならない將來

次にまた我國の泳ぎはさういふ深い歴史を持つてゐるから廣さにおいても世界無比の廣さを持つてゐる。津々浦々に至るまで、流儀は色々ですが泳ぐ人間の數が非常に多いのであります。ところが將來のことを考へると實際なかなか油斷ならないのであります。油斷をしてゐると案外泳ぐ人間の數は増えないものであります。

### 諸外國の水泳奨勵

諸外國を見ますと、この泳ぐ人間の數を増やすことに非常に骨を折つてゐる。必ずしもオリンピックに勝つことを目指してゐる譯ではないのであります。が泳ぎといふものが、このごろ流行の言葉「體位向上」の目的からいつて、この位よい運動はないのださうであります。

よく水泳ならば幾ら奨勵しても體位向上の目的から外れない、大いに奨勵するといふことをどこでもいはれるので、くすぐつたい氣がしますが陸海軍の醫務局長なども口を極めていはれますから、多分さうだらうと思ひます。さういふ見地からでせう、このごろは泳げなければ小學校の先生になれないなんて所が大分あります。

日本でも學校の先生が泳ぎを知らないで海岸につれて行つた子供が死んだといふやうなことが、新聞に出てゐましたが、これは少しひどいと思ひます。人を預かつて海岸につれて行つた先生が泳げないで泳がした子供が死んだといふのは問題にならないと

思ひます。

これは私は直接知らなかつたが慶應義塾大學の總長小泉信三さんが書かれた本に、驚いたのは現在アメリカではかなり多數の學校では學生は泳げなくてはいけないことになつてゐるといふことです。少くとも百メートルといふのですから少々心細いがたとへばユール大學などはそのためにプールが二つ作つてあつて何でも一階に一つあり、三階に一つあり片方は學生全部に少くとも百メートルは泳がす、水泳普及を目的とした國民皆泳プールであります。もう一つは優秀者を作るプールで恐らく世界記録を目的とするプールなのでせう。

### ヒ總統の熱心さ

その位各國が泳ぎを非常に奨勵してをります。また獨逸の如きもこの間のオリンピックの刺戟を受けて殊にヒトラー總統は泳ぎに對し非常な關心を持つてをられまして、オリンピックゲームは始終見に來られました。またオリンピックの濟んだ次の月、つまり九月の中ごろニュルンベルグでナチス黨の大會があつた際外國からのお客さん百人程呼ばれたうちに私も御招待を受けて参りました。その日ヒトラー總統は方々の國の人間がずつと並んでゐるとその國の大使が紹介をしながら握手だけをして通られました。私共日本人も四人程をつたのであります。同じく握手してヒトラー總統は部屋を出て行つた、と思ふと急にコトコトと階段を降りて、またこちらにやつて來られた。何か始まつたかなと皆驚いてゐると私のところへ來て、

「今の紹介で聞くとあなたは日本の水泳チームの大將ださうだが」と話しかけられた。

「自分は水泳といふものは非常によい運動だと思つてゐる。今度のオリンピックを通じて日本の泳ぎには恐れ入つたが、彼等は魚の如くに泳ぐ。ともいはれた。私はそれに對して

「イヤさうではない。他のものは人間の如く泳げないのです」

と申し上げました。すると之に大變興味を持たれたのでせうか、親しげに——尤も私の背が低いためかも知れませんが大いに笑つて私の兩肩に手をかけられてニコニコして相當長い時間話をしてをられました。が、大きな興味を持たれたものと見えて、昨年のおきは全國にプールを約二千とか三千とか作つたさうであります。此次のオリンピックにもドイツは相當強くなるであらうし、その次即ち今から六年後のオ

オリンピックには非常に強くなるのではないかと私は思つてゐる位ドイツは熱心であります。

### 海、川にも歸れ

さういふ風で世界各國とも水泳の普及には大變努力してゐるのであつて、我國においては實は最近そのことが比較のおろそかにされてゐた嫌ひがあつた。その理由は在來の日本の水泳普及の方法を見ますと各流派がそれぞれ昔からの土地にその教場を持つてをつたのであります。ところが段々競泳が盛んになるにつれて若い子供達は在來の流派の泳ぎが面白くなりプールに上つて行くつまり海とか川とかで泳いでゐたのがプールに上つてしまつた。そのために在來の流派の水泳教場が段々寂れるのであります。他方今の日本の水泳技術を發展せしめるのに明治から大正にかけて貢獻したのは學校の水泳部といふもので、これは海岸に合宿寄宿して一般の游泳を練習したものであります。これが段々と衰へていつの間にか海岸からプールに戻つて來てプールで早く泳ぐことばかりやるやうになつて來た。これは非常に遺憾なことで、これではいかに一、二の選手だけが早く泳いでもその根本が崩れてしまふからいけない。それで水上聯盟としてはロサンゼルスで優勝した前後から「國民皆泳」といふことを一つのモットーとして來たのであります。そのためにまづ何故今までの日本の各流派の泳ぎが段々衰へて行くかといふことを考へて見ました。

### 競泳萬能の弊害

これは一般青少年の間に誤解もあつたのであります。それは早く泳げるといふ人は泳ぐ人が100人ゐたらそのうちの5人くらゐより早く泳ぐことは出來ないのであります。ところか水に入ると皆が早く泳がうとするのですが、これは間違ひであると思ひます。水の中では兎に角一應先づアンヨは上手から始めて、泳げるやうになつてから水の中で走るに適する人は走る、ハイキングに適する人はハイキングする、踊りたい人は踊る、さういふことをやればよいのであります。

然るにどうしても競泳萬能といふ時代がありまして、泳ぎといへば何でも競泳でなければならぬ、競泳に非ずんば泳ぎに非ずといつた誤解が一時非常にあつたのであります。そのために水泳人口といふものは——これは私が假につけた名前ですが、水泳の出來る人口が減りつゝあつたと思ふ。

### 泳ぎ方の合理化形に捉はれた舊泳法

競泳といふことだけを中心にしてと在來の泳ぎは早く泳がないから面白くないのであります。

青少年を引つけるに足らないといふ點もありません。ところが他の一面に在來の泳ぎは非常な欠點がある。それは流儀といふものには必ず特長があります。どういふ特長があるかと申しますと一種の約束ごとの形があります。

### 泳ぎの目的と形

全然合理的な目的は忘れて「俺のところの泳ぎはかういふことをしなければいかん。手を抜くにはかういふ風にせよ」とかいろいろな形がある。そんなことは合理的に考へると泳ぎには關係のないことであります。手を抜いて進むといふことは、水の抵抗を減らすといふことのためで手を抜くにはちがひない、抜くには先づストロークを有効に搔いて水に抵抗しないで抜くといふのが目的にちがひない。

その手の抜き方を神傳流では指を段々に出して最後に水の滴りを二つ三つ残す、水府流では忙がしくやる。觀海流ではどうだ野島流ではどうだと色々なことがある。

### 軍艦は何故美しい

さういふことについて非常に面白いことは嘗て明治神宮の體育大會の時に各流派の偉い先生方に普通の競泳のほかには日本在來の最も優秀な泳ぎを一般の人に見せたことがある。ところがその時に驚きましたのは丁度學習院の生徒が來てゐた。學習院は日本在來の泳ぎを今でも熱心にやつてゐるのであります。私共はこの泳ぎを大變面白いと思つて見てゐたのにこの子供達は見てゐない。しかしレースになると皆熱心に見物する。そこでアトからこの子供達に何故在來の泳ぎはお前達に面白くないのかといつて聞いて見ますとその子供の曰く

先生、そんなことをいふけれども今日の飛行機を見てごらん下さい。飛行機は早くて不合理な點を全部除いて目的に適つてゐる。而も何も美しくするつもりであゝいふ形をしてゐるのではない。最も早く最も安全に、有利なやうに、合理的に出來てゐるから我々は美しく感ずる。また現在の驅逐艦や巡洋艦の恰好は美しい。あれは美しくする目的で作つてゐるのではない。しかし今日の諸先生の泳ぎはどれも美しく見せようといふつもりで泳いでゐるやうに見えて仕様がな。

子供だから理窟はいはない。これは非常に面白い見方だと思ひます。何時までもくだらない約束ごとで捉れてゐるうちに約束ごとが主になつて泳ぎの目的を忘れるのです。

無論私共拜見しましても、えらい先生はそんなことはない、ところが末輩に至ると、一番不合理な點を自分の流派の特長のやうなことをいつて、他の流派の悪口をいふのが自分の流派の長所を主張することのやうに思ふ弊害がある。

### 標準泳法の誕生

それで私共水上聯盟では日本全國にある色々な泳ぎ方の約束ごとを全部取除いて、標準泳法といふものを作りました。これを基にして指導者を作り全國に普及しようといふ仕事をロサンゼルスの大會以後すでに始めてをります。最近には段々と游泳指導者および游泳者の數が増える傾向に進んでゐることは事實であります。

かくの如くにして我々は歴史的に深さを持ち現實の事實として廣さを持ち、それをさらに高める。即ち我々は大きなピラミツドを作つてゐるやうなつもりでをります。

### 游泳者の金字塔

ピラミツドの天邊が世界に一番高いためにはその底邊が大きくなければ駄目だと思ひます。底邊が一尺でも長ければ先が一分でも高くなる。この天邊だけが水の上に浮いてゐて、外國と闘ふのではなくてピラミツド全體をぶつゝけて世界と闘つて行く、さうしてその頭を少しでも水の上に餘計出さうといふ考へ方で進んでゐるのであります。かくの如くにして進むならばいつまでも最も優秀な日本の水泳を保つことが出来るだらうと考へてゐる譯であります。最近に至りまして、先に申しました標準泳法を作つたり、指導者を養成したりすることのほか今年度の熱海の遠泳を企てたり或ひはラジオを通じて小學校の兒童諸君に泳いで貰はうといふやうなことをどんどんやりますが、これは水泳技術を普及するために水泳に対する關心を一般國民に持つて頂きたいといふやうな宣傳の意味も大いに含まれてゐるのであります。決して一時の思ひ付きの選手制度否定だとか、その弊害云々とか唯早く泳いだつて何にもならないといふやうな俗論に迎合した譯でもないのであります。また先程申上げたやうに、藥をのむやうな體位向上論に迎合してゐる譯でも何でもないのであります。

我々は今まで決めて來た大きな歩みをそのまま歩み續けて行かうとして居るのであります。

### プールは實驗室 眞の普及運動に邁進

「唯プールでレコードを争つて泳いでゐる、あんなものはくだらない」といふ話もありますが、これは非常な誤解だと思ひます。例へて云へば、プールの泳ぎは丁度新らしい發明などが出來てそれが産業化され實用に達する前に實驗室の實驗をしなければいけない、この實驗と非常に似たものだと思ひます。

### 世界で同じ條件

即ち水に流れがなく鹽分を含まず、世界のどこで泳いでも大體同じ狀況のもとに波もなく風もなく、そこでどういふ風に泳いだら最も早く泳げるかといふことをやつて見るのであります。これによつて我々は游泳技術の細かい點を非常によく研究することが出来るのであります。つまり實驗室における實驗が優秀であり、それを我々が始終研究して行く所に價值がある無論實驗室の仕事はすべて工業の方面でも直に工業化されない。プールにおける泳ぎは實驗室のやうなものでありますから、これを以て直に自然の水に臨んでは駄目なことは分り切つてゐるのであります。實驗室で實驗に成功したからといつて翌日直ちに千萬圓の會社を作つて製造を始めるといつたやうなことをすれば、その會社は必ず潰れます。これには色々實際的な考慮および經驗を要するのであります。それで私はプールの泳ぎを普及することによつて游泳者の數を増やすことにおいては非常に成功するだろうしまた現にしてゐる、また游泳技術を進歩させるにも成功したと思ひます。

### 味のある皆傳書

しかしながら同時に恐ろしいことは、どうも自然の各種の狀況における水に即應する訓練が案外一般の人に減つてゐるのではないか、これは私共昔の流派の泳ぎを習ひましたころには最後に免許皆傳のやうなものを先生が呉れるのであります。それは水に対する心得であります。それは實に簡單であつて例へば「泳がずに済むことなら泳ぐな」といふことが書いてあります。また泳いで死んだりなんかする人は水に対する心得がないからである、この水は泳いでいけない水だといふことが分るやうでなければいかぬ、といふこともあります。それから或る流儀の皆傳書などには例へば渡船が沈んだときでも扇子一本取落すやうでは君に不忠だといつたことが書いて

である。

これなど周章て、はいかぬといふことかと思ふとさうではない、先生の説明によるとおよそ水に落ちたとき、浮いてゐるのは何でもないことで一番怖いことは身體が冷えるといふことである、難船のときの心得として一番大切なのは冷えてはいけないことである。そこで着物を脱がない必要な運動の妨げになるもの以外は脱がない方がよい、ところがさういつたことは何も知らないでクロールだけが馬鹿にうまいといふやうな人間が着物をすつかり脱いでバタバタ陸に向つて泳いだりすると十キロなくても死ぬに決つてゐる。

### 人命の救助の必要

要するに一般的に見て今日では水の心得が減りつゝある。そこで水泳の普及といふことの中に泳ぎの技術のほかに何處の水に行つても泳ぐといふことに必要な知識及び技術経験といふことを得させるといふことを考へてをりまして今後さういふやうなことも行はなければならぬ、したがつてまた人命を救助するには如何にしたらよいかといふことも、私ども昔は必ず習つたものであります。この頃は早くは泳げるが人命救助といふことは知らない人が幾らもゐる、さういふことではいけない、要するに水泳を本當の意味において普及するといふことをわれわれはやつてゐるのであります。

### 愉快に夢中でスポーツにこの特徴

なほ終りにもう一つプールの泳ぎに誤解があります。これはプールの泳ぎのみでなく、スポーツ一般に關してこの頃急に何か心身鍛錬とか體位向上とかいふ言葉が流行するものですから、相當な人々までが武道は心身鍛錬になるがスポーツはならぬといふ様な事を仰つしやる、しかしスポーツといふものゝ本質をまだ知つて居られないのでスポーツといふものは遊戯であるには違いないが面白い中に一生懸命になるところがよいのであります。つまり面白くないものを一生懸命やれといつたところでなかなかやれない、體操は身體のためになると奨めても之を面白くやることを考へなければなかなかやらないのであります。スポーツの特徴は面白がらせながら夢中になつてやらせるといふところがよいのですが、そこにまた弊害もあるのであります。しかしその特徴を私等はつかまへて行くのであります。

スポーツといふものが如何に心身鍛錬になるかといふことはスポーツに自ら關係してみるとよくわか

る。私は實はスポーツだけをやつたのではなくて、およそ日本の武道の表象であるところの劍道については學生時代に可成り熱心にやつたのであります。あまりうまくはならなかつたけれども……

### 一生懸命にやれ

武道にしるスポーツにしる一生懸命にならないものは兩方とも何にもならない。武道でも一生懸命やらないでダラダラやつてゐたり、たゞ勝負だけ争つて、敵のお面に一寸觸るといふやうなことでは何もならない。一生懸命やるといふところによいところがある。之について私は實に面白い話だと思つて始終感心してゐる一つの實例があります。さきのベルリンオリムピックの千五百メートル決勝レース、恐らく諸君もラヂオを聴いてもつとも心配されたレースの一つと思ひますが、つまり勝つか敗けるかといふ最後のレース、このレースにおいて一着になる日本の見込みのある人間といふものは、實は優勝した寺田登君と初めから見込があつた譯ではなかつた。寺田君があれだけ泳ぐといふことは一寸想像出来なかつた。その寺田君が見事優勝した。この寺田君がレースが済みまして直ぐ控室に歸つて來る、私も見物席から控室に行つて二人きりになつた時寺田君が先づ何をいふかといふと「今日は實に面白いことを氣がついた」それはまだ歸つて來て直ぐです。まだ體に汗が一ぱい出ておりました。

### 寺田選手の體驗談

その時にかういふことを言しました。

「私は今日は初め兎に角夢中で飛出してみたならば案外敵よりも先に大分出てしまつた、それから暫く行つて苦しくつて堪らなかつたが、もう今日こゝでへたばつたらいかんと思つて苦しいのを我慢して泳ぐでゐると、そのうちに苦しみがなくなつた、またやがて行くとエライ苦しみが來た、今までならその頃からやめるなり力を抜いてしまふのだが、しかし今日は敗けられないと思つてまた泳いださうしたらまた苦しみがなくなつた。そのうちにまた苦しくなつた、それで四遍目位に苦しいと思つた時にゴールに着いた。

非常に面白い言葉です。

### 克苦の精神が

つまり大體今の一般の第一流まで行かない選手といふものは二番目の苦しみくらゐしか知らないのであります。苦しみといふものは其處を切抜けるとま

た樂がある、樂になつたらまた次は苦しい、そこを抜けて行くといふ精神力といふものが、これはその本人の経験によつてのみ得られるものらしいのであります。それをあゝいふ一流の選手が自分でそれを氣がついてレースから歸つて来て最初にいつた言葉がそれであることは非常に面白い。

私は後に日本に歸つて参りましてから高石勝男君のやうに早くから一流になつた人、その他一流選手にその話をしますと、例へば高石君など「恐らく私がやつてゐた頂には他の選手諸君はこの第一段階の苦しみしか知らなかつた、自分はやうやく第二段階位を知つてゐたのでせう」といはれたが、これは勿論高石君の謙遜した言葉で非常な苦しみをぶち抜けて、そしてまたその水の苦しみを切り抜けて行くといふことはプールにおける水泳においても立派な経験の出来ることなのであります。

一般學生出身の選手に對し外からそれだけの経験を傳へることは、唯フラフラ泳がしてゐては出来ない、やはりオリンピックのやうな國民の待望を擔つて國の名譽を擔つて、これは敗られないといふ意氣

を持つて戦ふといふところにあるのであります。

すなはち單なる勝負を争ふとか單なるレコードを競ふといふやな皮相な批評を下してはならない、かくのごとき経験は恐らく武道にしてもフラフラやつてゐては得られないと思ひます。

### 國民皆泳に邁進

私は、この意味においてわれわれが今日まで泳ぎに關してやつて來たことについて、いろいろな議論がありいろいろな流言がありますにも拘らず何等修正すべきものを認めないのであります。寧ろ吾々のやつて來たことの内容を充實して幅をもつと擴げ、そして先程申しました大きなピラミッドを世界の海の中に押出して常に世界を壓倒してやりたい。かういふことを念願としてゐる次第であります。

國民皆泳の問題につきましては一般の方々の御協力、御同情御支援を得なければならぬのであります、この運動を特に今後力を入れてやつて行きたいと思ひますから、この方面に御協力を得ますれば洵に幸と存じます。

## 歐洲水泳界の消息

商科大學水泳部 鹽田正典



外國の水泳界の情勢に興味を持つてゐる人々も多からうから、「泳者」Der Schwimmer と、「水泳時報」Swimming-Times の記事によりつゝ歐洲水泳界の消息をこゝに御傳へしようと思ふ。たゞ、以下の記述は決して、兩誌の記事の直接の翻譯ではない。多くの場合、それ等の記事の要旨を手短かに御傳へしてゐるにすぎない。又幾つかの記事を集めて一つに綜合してゐるところもある。

### ○ドイツ對ハンガリー水上競技大會

ドイツとハンガリーとの間の水上競技大會は、7月16日、17日の兩日ブダペストに於て行はれた。觀客8千、種目はオリンピック種目、結果は27-17の得點でドイツの優勝するところとなつた。記録としては大して見るべきものもなかつた様であるが、ドイツのフイツシャーは百米自由型に於て1分0秒4でチックを破つた。だが水球ではハンガリーが3

-0で勝利を得てゐる。

### ○歐洲諸國の選手權大會と歐洲選手權大會

ドイツ選手權大會は7月8日より10日に亘つてダルムスタットに於て非常に盛大に行はれた。又ハンガリー選手權大會は7月23日、24日の兩日ブダペストで舉行された。フランスの選手權大會は7月14日、15日パリーに於て開かれた。なほハンガリーの選手權大會はその少し前に行はれた對ドイツの水上競技大會に同國が敗れてゐるために、選手權大會も意氣消沈してまことに寂しいものであつた様に報じられてゐる。

1938年のヨーロツパ選手權大會は8月8日より13日まで、ロンドンのウエムブリースタジオンに於て、14ヶ國の参加の下に行はれ、8日間の長きに亘りヨーロツパ第一流の水泳選手、飛込選手、水球選手がその技を競ふたのであつた。この大會では得點によつて優勝國が決定されるが、男子の部はドイツ



が、女子の部ではデンマークが夫々優勝してゐる。  
しかし男子の水球競技の勝者はやはりハンガリーであつた。

下記に右の諸大會の結果を日本の選手權大會その他の記録と比較しながら御紹介することとする。

### 1. 男 子

種目	大會名	日 本	日本學生	ド イ ツ	ハンガリー	フランス	歐 洲
100 米自由形		1: 00.0 佐々木	58.4 新井	1: 00.0 Fischer	1: 00.8 Csik	1: 01.2 Nakache	59.8 Hooring-Holland
200 米自由形		2: 10.6 新井	2: 12.0 新井	2: 18.2 Plath	2: 16.6 Grof	2: 20.7 Nakache	
400 米自由形		4: 47.0 新井	4: 48.0 高橋	4: 59.9 Arendt	4: 58.6 Grof	5: 03.0 Talli	4: 51.6 B. Borg-Schweden
1,500 米自由形		19: 19.2 天野		20: 47.1 Arendt		21: 12.4 Desbonnet	19: 55.6 B. Borg-Schweden
100 米背泳		1: 09.2 兒島	1: 08.8 兒島	1: 09.0 Schlauch	1: 11.8 Erdélyi	1: 15.1 Blanc	1: 09.0 Schlauch-Deutschland
100 米平泳		1: 13.0 葉室	1: 13.0 葉室		1: 13.6 Engel		
200 米平泳		2: 42.2 葉室	2: 42.8 葉室	2: 43.2 Balke		2: 59.3 Nakache	2: 45.8 Balke-Deutschland
400 米繼泳				4: 10.1	4: 09.4		
800 米繼泳			9: 11.8 立大	9: 47.2		9: 85.8	9: 17.6 Deutschland
高飛込		108.74 柴原	112.91 小柳	128.47 Weiss	108.22 Hidevegi	92.41 Lemaitre	124.67 Weiss-Deutschland
飛板飛込		144.95 柴原	146.88 小柳	159.81 Weiss	134.65 Hidevegi	132.82 Andre	148.02 Weiss-Deutschland

### 2. 女 子

種目	大會名	日 本	日本女子 一 般	ド イ ツ	ハンガリー	フランス	歐 洲
100 米自由形		1: 16.2 谷口	1: 14.2 小枝	1: 08.3 Schmitz	1: 12.2 Acs	1: 14.6 Dubettier	1: 06.2 Hveger-Dänemark
200 米自由形		2: 51.0 三浦			2: 41.8 Acs		
400 米自由形		6: 01.4 三浦	5: 58.6 宅間	5: 43.9 Halbsguth		5: 58.4 Fleuret	5: 09.0 Hvege-Dänemark
100 米背泳		1: 26.0 伊藤	1: 26.0 伊藤	1: 21.4 Schmitz	1: 26.8 Acs	1: 25.4 Motto	1: 15.0 Kint-Holland
100 米平泳		1: 32.0 中山	1: 31.4 野中				

200 米 平 泳	3: 20.4 中 山	3: 17.8 中 山	3: 05.7 Busse	3: 16.6 Szigeti	3: 20.3 Letellier	3: 05.4 Sörensen-Dänemark
400 米 繼 泳					5: 17.2	4: 31.6 Dänemark
飛 板 飛 込	88.95 大澤(政)		107.74 Daumerlang		96.41 Poirier	103.6 Slade-England
高 飛 込	33.4 大澤(禮)		40.03 Heinze		32.28 Lebreton	37.09 Beeken-Dänemark

以上の結果を総合するに、日本は男子の競泳に關する限り、依然として高く歐洲諸國の上に秀でてゐることがわかる。歐洲の如何なる國に對しても慶大日大等の一つの大學を單位とするチームを以てして立派に勝利を得ることが出来よう。それのみではない。後に記す歐洲對アメリカの水泳大會に於ける歐洲の選抜軍に對してさへ同様のことが云ひ得られるのではあるまいか。こゝに吾々は水上日本の誇りを充分に感じていゝわけである。

しかし女子の記録はまさにこれと正反對である。切にその向上を祈りたい。

#### ○米國對歐洲水上競技大會

歐洲に遠征した米國水上軍は、8月20、21日の兩日、ベルリンのオリンピックスタジアムに於て、全歐洲の選抜軍と技を競ふた。

結果は次に記すが如くであるが、全體として觀るならば、自由形と繼泳に於てはアメリカが勝ち、平泳、背泳、混繼泳及び飛込に於てはヨーロッパが勝利を得てゐる。選手權の數からいふと米國の五に對し歐洲は七であるが、得點の上からは38對36で米國が優勝の榮を握つた。

なほ日本の新聞では、この大會で1,500米自由形にフラナガンが19分9秒いゝの好記録を出したるが如く報じられてゐるが、その誤報なることは同種目に於けるフラナガンの途中時間を見るならば一目にして瞭然たる所である。

以下「水泳時報」を抄譯する。

第1日は午後8時より行はれた。屋外プールの夜間競技は、余りいゝ條件を與へるものではない。午後の暑さも夕方に到つてひえびえとした氣温に變つて來た。しかしなほ、幾つかの好レースが展開され、400米繼泳に於けるアメリカチームの世界記録さへ樹立された。

#### (1) 100 米自由形

1. タレット(米) 59.3
2. フィック(米) 59.8
3. ドーラ(歐) 1:01.2
4. ケレジー(歐) 1:01.6

#### (1) 200 米 平 泳

1. バルケ(歐) 2:42.8
2. ウアーソン(米) 2:50.9

#### (3) 飛 板 飛 込

1. ヴァイス(歐) 154.25 點
2. ルート(米) 149.15 點
3. パートニック(米) 145.10 點
4. ハスター(歐) 139.40 點

#### (4) 200 米 背 泳

1. シュラウハ(歐) 2:34.9
2. ノインチツヒ(米) 2:35.2

このレースは當夜の最大レースであつた。歐洲選手權保持者なるシュラウハに對し、オハイオ大學の新人のノインチツヒが對した。一回不發によるファウルスタートの後、両者は百米まで全く相並行、それからシュラウハが稍先んじた。そしてノインチツヒの最後の頑張りも甲斐なく、僅かにタツチの差でシュラウハの勝つところとなつた。

兩者の泳ぎは、まことに極端な對照をなすもので、シュラウハが元氣一杯に強引な泳ぎをなすに對し、ノインチツヒはしぶきもあげず殆んど何の勞する所もない程にさへ見える泳法を持つてゐる。

#### (5) 400 米 繼 泳

1. 米國チーム(廣瀬、タレット、ウォルフ、フィック) 3:59.2
2. 歐洲チーム(ドーヴ、フィツシャー、ハイベル、ケレジー) 4:03.2

#### (6) 400 米自由形

1. フラナガン(米) 4:46.8
2. ビオルン、ホルグ(歐) 4:57.8

#### 第2日

第1日は上記の如く、24點對18點で、米國側の優勢裡に終つた。2日目は濕氣の多い。風の吹く、比較的寒い日であつた。そして午後のコンディションは決して良好とは云ひ得なかつた。

#### (1) 800 米 繼 泳

1. 米國チーム(廣瀬、タレット、ウォルフ、フラナガン) 9:03.6
2. 歐洲チーム(ライヴエルス、タリ、ホルグ、ブラート) 9:10.0

途中中間

米 國		歐 洲	
廣 瀬	2: 19.0	ライヴエルス	2: 22.3
タ レ ツ	2: 15.6	タ リ	2: 20.0
ウ オ ル フ	2: 16.0	ボ ル グ	2: 14.4
フラナガン	2: 13.0	ブ ラ ー ト	2: 13.3

(2) 100 米 平 泳

1. バルケ(歐) 1: 12.3 2. ウアーソン(米) 1: 18.2

(3) 100 米 背 泳

1. シュラウハ(歐) 1: 09.7 2. ノインチツヒ(米) 1: 11.0

(4) 高 飛 込

1. ヴァイス(歐) 118.47 點 2. ルート(米) 115.20 點

(5) 1,500 米 自由形

1. フラナガン(米) 19: 39.5 2. ボルグ(歐) 20: 09.4

途中時間

フラナガン		ボ ル グ	
100 米	1: 08.7		1: 09.4
200 米	2: 25.4		2: 27.0
400 米	5: 04.0		5: 10.8
800 米	10: 25.6		10: 37.0
1,000 米	13: 05.6		13: 19.0
1,500 米	19: 39.5		20: 09.4

(6) 600 米 混 泳 泳

1. 歐洲チーム(シュラウハ、バルケ、フイツシャー) 3: 21.2  
 2. 米國チーム(ノインチツヒ、ウアーソン、フハック) 3: 28.0

途中時間

米 國		歐 洲	
ノインチツヒ	1: 10.3	シュラウハ	1: 10.0
ウアーソン	1: 19.2	バ ル ケ	1: 12.2
フ イ ッ ク	58.8	フイツシャー	59.0

以上の如く、本大會は僅少の得點差で米國側の優勝する所となつたが、この「水泳時報」の記事の記者が「主なる印象」として掲げるところが面白い。即ち曰く、「米國は依然として、自由形に抜きんでゐる。しかし一般の水準は向上しつつある。數年の内にはそれほど圖抜けてゐることは出来なくなるだらう。又水泳競技といふものが、段々と若い人々の競技になりつつある。この大會の選手の中に年齢 24 歳以上のものは一人もゐない。タレツは 16 歳廣瀬は 15 歳、而もこの兩者は自由形に於ては、將來米國の最大の選手にならうとする人々である。一體、星條旗の下には多數の日本人選手がゐる。米國はこれ等を自由形泳者として矚目しつつあるから、將來に於てはその數も相當多數に上るであらう。日本人水泳選手から成り立つ、アメリカオリンピックチームを見ることはまことに奇妙なりと云はねばならぬ」と。

○日本の中等學校大會

日本のインターミドルのことが 8 月 31 日の「泳者」に載せられてゐる。同大會の記録をドイツ人が如何に見たかは一寸面白い。以下その記事の抄譯をかゝげる。

「8 月 31 日東京に於て投函された、日本中等學校選手權水上競技大會に関する報道をもたらす航空郵便が昨今到着した。吾々がこの結果を一瞥するに、日本に於ても若き水泳選手強化の努力が不斷に續けられてゐることが確かに看取される。

2 人の若人が、100 米自由形に 1 分 2 秒を記録し 200 米自由形に於て、優勝者宮本は 2 分 16 秒 6 でこれを泳破し、又 400 米自由形に於ても、同人が 4 分 56 秒の記録を出してゐることは決して僥倖ではない。人或はこれを天賦の然らしむる所なりとするかも知れぬ。或は然らん。されど吾々ドイツ青年にとつてこの日本青年の記録をしかく無頓着に片付けることは許されない。平泳の記録は必ずしも著しいものばかりではない。しかし 100 米背泳に於ては、優勝者妙中の記録は 1 分 13 秒 2 であり、2 着、3 着の記録も夫々、1 分 14 秒及び 1 分 14 秒 8 である。200 米背泳に於ても、松本は 2 分 39 秒 8 を記録してゐる。

これを要するに、その記録は先日フランクフルトに於て行はれた吾等の青年選手權大會のそれに比して一段とすぐれたものである。而もこの大會が、東京の神宮プールの 50 米のコースで行はれたことは更に注目されなければならない」と。

○ヘルシンキに於ける水泳競技場

フィンランドの建築家なるイルマリ・ニームルマイネン氏は、オリンピック競技のための新たな水泳競技場の設計を公にした、それによれば、プールは陸上競技場と動物園の間で、植物園の近くに設けられることになつてゐる。觀衆は、1 萬人から 1 萬 2 千人が收容される。競技場は大小 2 つのプールから成り、大きな方は長さ 50 米、巾 20 米、深さ 2 米である。小さな方は飛込競技用の特別なプールで、圓形をなし、直徑は 20 米、深さは 5 米である。觀客席の下には、脱衣室と事務所が設けられる。

費用は 650 萬フィンマルクと見積られ、着工は今秋であらうから、1940 年の 4 月には完成してゐるであらう。而して來年の夏には或る程度は利用出来るものと思はれる。

なほ、オリンピック競技の日取りは既に發表されてゐるが水泳は、7 月 26 日から 8 日の 3 日にかけて行はれることになつてゐる。

# 昭和13年度競泳界を顧みて

齋 藤 巍 洋

13年度のわが競泳界も10月5日東京帝大室内水泳場で行はれた記録交換日、獨、伊三首都對抗水上競技大會を持つて終了した。

今シーズン劈頭から明後年に控えたオリムピック東京大會を目指して各選手とも異状な緊張振りを見せてゐた。日大、慶應、立教などの猛者連は春寒の候からYMCAの體育館にまた明治は自校室内プールで練習、早大はラグビーなどによりチームワークを固め、春の早慶戦には慶應の寺田、高橋、小池、兒島、島本君などの活躍は美事早大の傳統を覆し、また三大學でも二年連勝の立教も日大の闘志の前に挫折して終ひ、早くもその均衡を失ひ、波瀾を呼び起した。

この分ならば「水泳日本」も本シーズンは必ず興味ある收穫が得られるぞといふ感を一般に與へたのであつた。それ程各選手間に生氣が横溢してゐた様であつたが、7月14日の厚生省會議で「オリムピック東京大會」が返上に決定し少なからず、水泳人を失望せるものがあつた。

唯一の目的を失つた選手達にとつては、「如何に泳ぎは體位向上の見地から見てよしい」からといふて、唯泳いでゐるだけでは興味が湧いて來ない。眞剣な練習、苦しい練習も興味を持つてやつてこそ眞の泳ぎが理解出來、また記録の向上も望め得るのである。一時はどうなることかと可成り心配させられるものがあつたが、先づ地方では銃後の體位向上を目指して國民皆泳へと例年にない力癪を入れる様になり、また一流選手たちはオリムピックもヘルシンキに決定して希望が持てる様になつたためか、果敢またまた活況を呈し日大の新人天野君、立教の新井君などが試合ごとに懸命な力泳を試み、世界記録に挑戦し始めた。日本選手權關東豫選會には天野君が1500米に18分58秒8の輝く世界新記録を樹立、多年わが長距離のナンバーワン北村、根上、石原田、寺田君などが毎回狙つて破れなかつた怪物アルネ・ボルグの記録19分7秒2を11年振りに物にし凱歌を奏することが出來た、また日本學生選手權には更に天野君の域に高橋君を加へ得てここに不動の長距離陣を形成することが出來た。

短距離には新井、佐々木君があり、背泳には兒島君、平泳には學生選手權に葉室君と五分に闘つた小池君が、葉室君を破ることが出來なかつたが、依然葉室君が平泳界のナンバーワンとして君臨、各種目のナンバーワンを完全に揃へ得たので先づ競泳陣のオリムピックに對する準備が出來上つた様な氣がする。

この上は是等の選手達をペース・メーカーとして陣容を強化すればよいのだ。

毎回のわが水上陣のオリムピック史を繙いて見ても、ペース・メーカーの出現によつて沈帶せる競泳界を活氣づけ、新人を引つ張つて「水泳日本の制覇へ」と導いてゐる。ロサンゼルス大會前には牧野、清川君などがそれだつた、牧理君が長距離界に擡頭するや、少年北村君がこれに續き、苦心慘愴して牧野君が物にしたペースを1シーズンにして北村君が受繼ぎ、遂に長距離陣を超人ボルグの域にまで競り上げて終ひ、清川君に續いて入江、河津君などで背泳トリオを形成、また平泳でも鶴田、小池君とで固め、短距離陣も宮崎、河石君とで遂に覇業を完成するまでに到つたのである。次きのベルリン大會でも同様な過程をたどつてゐる。中、長距離界に突如根上君が擡頭した、丁度今シーズンの天野君の様に、翌年には根上君の様に無器用な泳ぎではあつたが、元氣一杯で石原田君が1500米19分12秒まで漕ぎつけ、寺田君のオリムピック優勝となつてゐる、また小池君の善導によつて葉室君が生れ、遊佐君に續いて新井、田口君などが第一線に顔を出し、また鶴藤君などがメデイカと400米で決勝を五分に争ふまでになつてゐる。

そして從來の戦績によつて「一度物にしたフォーム、泳ぎのコツ、記録」などの秘訣は各選手の努力精進研究さへよければ、必ず忘れるものではない。翌年になつて不調な選手は必ず眞剣な練習への精進が缺けてゐるためだ、といふことが先輩達の奮闘の跡を見れば歴然と窺はれる。従つて毎シーズン張り切つた練習を持続することは苦しいに違ひない。

日本學生選手權大會にはシーズン初めから無敵振りを發揮してゐた天野君も遂に400米では高橋君に

敗れ、超人でも長い長いシーズンをぶつ通して、緊張した練習を続け、好調を持続することは困難な問題であるといふことを物語つて居る、しかし高橋君も天野君も世界のナンバーワンを狙ひ得るに十分な貫録があり、新井君などと共に撮生と練習への自確さへ失はなければ、まことに心強い戦跡であつた。そして本年の好調は更に明年には向上が期待され、新人連も是等のペース・メーカー連をひた向きに追つかけて泳げば自然フォームが完成され、またペースも物にすることが出来よう。

でも期待さるべき新人群の質が悪ければ、量的に如何に恵まれてゐてもチームとしての充實が望めない。第二線にある新人群の動静はどうか、先づ大學級に求めれば河野（日大）杉田、古川（早大）片山（慶應）君などが先づあげられ、そして可成りの活躍をしたが、一方中學界に目を轉じて見よう。

中等界の充實こそ本年度の水聯の最高方針だつた、中等陣強化のために三月の休暇に第1回の選抜選手合宿を甲子園室内プールに行ひ、夏季練習の針進を與へ、東部、中部、西部三地區ごとの代表をそれぞれ地區別に東京にて合宿練習せしめ、引續いて日本中等大會第6位までの選手を8月10日から18日まで甲子園に合宿19日から3日間に亘つて行はれた日本選手権に出場、大學級、一般選手と堂々争覇せしめたのであつた。

日本中等大會前の合宿は練習時間が僅か4日間位だつたのと、1チーム40名以上の大世帯だつたのとで思ふ様な練習が出来なかつたが、日本選手権前の練習では可成りの成果を収めることが出来た。

早、慶などの一流どころの参加を見ずまた少なかつたとはいへ、第3位入賞者として宮本君（多度津中）が堂々200米、400米で第2、第3位に入選し100米では小柳君（中京商）が第3位、また200米平泳でも田畑君（京二商）がよく第3位に喰ひ込んで氣を吐き、他の選手達も決勝に残り、健闘したのは稻讃にあたいする。

11月10日水聯から發表された十傑表には小柳（中京商）宮本（多度中）岩田（岐阜商）淺野（中京商）田畑（京二商）妙中（伊都中）松本（松山商）服部（津島中）君などが堂々ランクされてゐる、各選手とも泳ぎの質に優れ、期待されるに十分な、素質を持つてゐる連中であるから、まことに心強いも

のがある。

ことに小柳、宮本、岩田君などは體力といひ、素質といひ、申分なく、わが自由形陣には無くてはならぬメンバーとならう。平泳陣は將來期待されてゐた田畑君などがバタフライを練習したため、協力を失ひ、遂に2分52秒に止まつて終つたのは一抹の淋しさがある、また背泳陣は妙中君など闘志に満ちたレースをしてゐたが、松本、長谷川君など、まだ自由形陣に比して、幾分見劣りする感じであつた。

しかし、中等選手と合宿、練習を共にして痛感したことは、各選手とも期待以上に練習に眞剣であつたことだ、この眞剣な気持ちこそ、1940年度のオリンピック制覇へと導いてくれることと確信する、練習期間は餘すところ1シーズンだ、張り切つた氣分で練習へ精進して欲しい。

冬季練習注意について一寸と述べて見よう。

16度以下の水温では絶対に泳いではいけない。冬季は休養が第一だから、先づ休養を考へなければならぬ。泳ぎをすっかり忘れて陸上で運動、體操、なんでもよい、夏の元氣を陸上で發揮させるとよい。東都一流選手はラグビー 或はYMCA 體育館に遊ぶのも、冬季は休養期間ではあるが、心臓などに贅肉を付けないためと、いつも運動によつて新鮮な鋭氣を養つて置くためである。そして冬季眞面目に體操でも楽しんでゐた連中は必ず、夏期の成績を向上させてゐる、従つて泳いで冬を過ごすことは禁物だ。本シーズンの各選手の活躍を見るとシーズン初めから無敵振りを發揮した、日大の天野など秋の學生選手権にはやゝ不調となつてゐる。シーズンをぶつ通して緊張した練習を続けることは日本人の體質として無理であるからだ、そして夏季でも休養を撮りながら練習してゐた連中が良い成績をあげてゐる、また米國の競泳界の戦跡を見ても室内シーズレに世界記録を出した時代でも、夏季日本に來朝した時などには餘り芳しい成績ではなかつた。米國人の様に體力ある選手でもこの成績だ、日本人は適當の休養が天然の季候により自然に與へられるからこそ今日の進歩が望まれたのである。最近各人に恵まれた練習場があり、容易に練習も出来る様になつてゐる、「泳いで見たい」こんな気持ちに驅られて冷水をも無理して泳ぐ様になる、よく戒しめなければいけない。

# 水泳の體育的價値と 其普及に就て

醫學博士 金子 魁 一

オリンピック東京大會が解消された事は、誠に遺憾の事であるが、之れも國策遂行のためとあれば己むを得ざる次第である。此際に處して我水上競技聯盟が一步進んで國民皆泳を目指した事は、最も時宜に適した事と思ふ。選手制競泳と國民皆泳とは決して異なつた基底の上に立つものではない。國民皆泳の實が擧がつて來れば、そこに優秀な選手も生れるのである。かく考へて見ると、此スローガンは夙に叫ばれるべき筈であつた。併し競泳補強の事を離れても、國民皆泳の事實が我海國にありては如何に重要視すべきかは論を俟たない所である。

私は水泳の體育的價値を述べ、此方面から國民皆泳の必要を叫びたいと思ふ。水泳が人體に及ぼす影響は、簡單には斷言すること出来ないが、便宜上次諸項目に就いて自己の意見を述べる事にする。

## (一) 水泳は日光浴を兼ねて行ふ事が出来る。

水泳が室内保温プールで行はれる場合は別として、晴天の戶外プール、特に河、海、湖沼等に行はれる時は、裸體で日光に浴する事となる。之等の場合には、唯短時間泳いですぐ歸るといふ様な事はなく、所謂「甲羅干し」と稱して、日光に浴しつつ休息して又水にとび込むといふのが常である。夏季の戶外スポーツは、どれでも日光浴になる筈であるが、炎熱下には水浴の傍日光を浴するに非れば中々やり切れない。殊に日光浴は全身的である事を必要とするから水着を用ゐずにパンツか六尺一帶の方がよろしい。かく考へると水泳程日光に親しみ得るスポーツはなからうと思ふ。然らば日光は人體にどんな利益を與へるかと思ふに

(イ) 血色素を増加せしむる作用があり、従つて赤血球を増加する。故に貧血性の人には最も適して居ると思ふ。

(ロ) 血壓を低下せしむ。

ともすれば日光浴のやり始めは上昇する人もあるが、漸次に下降して行く、又最初から下降することも少くない。

(ハ) 黴菌を殺したり、又は其發育を抑制する作用がある。現代國民病とまで云はれて居る結核病の菌の如きは、日光の照射によつて死滅すると云はれて居る。

(ニ) 新陳代謝を盛にする。

體内で新陳代謝が行はれる場合に營養分の採用量が消耗量より多いと、營養佳良となり、そこに成長なり肥大なりを伴ふて來る。斯様な状態を新陳代謝が盛であるといふ、日光浴には此作用を促進する效がある。だから日光浴は全身の發育を助け、骨格の發達には缺くべからざるものである。

(ホ) 體内に於ける「ビタミン」の製造能力が、増進する作用がある。

以上の外に皮膚の色素「メラニン」を増加して褐色又は暗色となし以て皮膚の抵抗力を強める作用がある。

(二) 水泳は同時に空氣浴を兼ねて行ふ事が出来る。

人間に新鮮な空氣が必要である事は、何人も知つて居る所であるが、日常生活状態を見るに、新鮮なる空氣に觸れる事が少ない。少し寒いと直に室を閉ぢて外界の氣流を絶つて仕舞ふ事が、常の様だが之れが善くない。即ち室内に居る場合でも吾々の周圍には外界に通じた氣流を必要とするのであつて、今日重篤な肺結核の患者にも開放療法が推賞されて居る事は此理に由るものである。水泳は戶外の清淨な空氣に満ちて居る所で行はれるから空氣に浴することは最も適したスポーツである。淨き空氣が膚面に與へる刺戟は、之れを鍛鍊して強靱なものとなし外界温度の變化に對して強き抵抗を與ふる様になるのである。尙此事については後章を参照せられたい。

(三) 水泳は冷水浴としての効果を擧げる事が出来る。

冷水摩擦の效果は餘りに知られて居るが、又忘れられて居る事實であらう。之れを繼續する事によつ

て感冒の豫防ともなり従て保健の基礎となる事は全く疑ふ餘地もないが、水浴はそれにも優りたる效を有する。東京 Y. M. C. A. に於て年中游泳して居る吾人は此點に就ては深い體驗を有して居るのであるが、夏期戶外で泳いで居る人には水に充分馴れ切つた頃が其年度の游泳末期となるのであるが、此時期から水浴を繼續することはさして難事ではない。若し夫れ冷水摩擦に移行する事の如きは實に易々たるのみである。水泳は此習慣を守るにも都合のよいスポーツである。

#### (四) 水泳は夏季體育中最も優秀なものである。

之れは常識から何人も異議なき事であらう。元來夏期は身體中に行はれる新陳代謝機能が最も緩慢な時であつて食慾不振、夏瘦などはこんな譯で起るのである。それで病氣に對する抵抗力が低下して來るから、此時期の衛生は特に注意を要する。林間學校海濱學校などは、斯様な必要から生れたものである。水泳は以上列記した作用を持つて居るから、夏季の不良なる身體の條件を變じて却て體位を向上させる事になるのである。

#### (五) 水泳は皮膚面を清潔にする作用がある。

人體が外界と接觸する境界は皮膚である。即ちここは外界の影響を最も多く受け入る門戸である。又其の表面を透して藥劑を吸収する作用がある。それは彼のサロメチールの用法が好例である。又新陳代謝の消耗産物である所の汗を排泄する所でもある。汗の排泄が悪しければ全身遠和を生ずる。蒸し暑い日に何となく氣分の悪いのは其爲で甚しいときには日射病や熱射病などを起す事すらある。以上の理由で皮膚面を清潔にする事は夏期には特に肝要である。水泳は此目的には適當してゐる。

#### (六) 水泳は體育として優秀な價值を持つて居る。

私は水泳の型と動作に就いて少しく研究して居るが、水泳程全身平均して運動し、男女老若、何人にも適當した運動は少ない。競泳の場合を除いては、其運動量も各自、苦しくない程度に樂に泳いで居れば、過多にわたる事はあるまい。そして各泳法の型や動作からいつても今日學校に課されて居る體操の動作を、具備して居る點から考へて水泳は最も良き體育と謂ふて可なりと思ふ。殊に水泳には次に述べる様な二項の優れた點を有して居る事は、體操に優つて居る所である。

#### (イ) 水泳は一種の抵抗運動である事。

凡そ動作の中で、其動作に反抗する力に打勝つて行はれる場合が、最も強い力を表はすものである。例へば腕角力の如きそれである。水泳の

場合抵抗となるのは水である。即ち水の壓力に折勝つて行はれる動作であつて、此動作によつて浮力推進力が生ずるのである。臂脚の動作が強ければそれに應じて水の抵抗も強くなる。此際水の抵抗に打勝つ所にスピードが生ずるのである。水泳が體力を増す體育として如何に適當して居るかが了解される事と思ふ。

#### (ロ) 動作に純粹性がある事。

運動時に脚の状態を見ると、體重を支持する役目と、動作を營む役目と二つの義務が負はされて得る。水泳の場合には體重負擔の役目はないのである。それだけ脚の動作は純粹であるといふのである。即ち腦に於ては荷重に關する神經を働かす事なく、只動作に就ての興奮のみであるから、腦の動作支配作用は一層巧緻性を増すのである。故に脚の運動訓練を必要とする場合には水泳が一番よろしいと思ふ。

#### (七) 水泳は身體の完全なる發達を遂げしめる。

以上述べた様に水泳の動作は、全身的であり各部の働く力も平均して居り、且又一二の泳法を除く外、左右相稱的の運動であるから、全身の發育が平均して來る。幼少から正しい泳法を學んだ人は、全身釣合のととのひたる發達を遂げて居る。又胸廓異常、例へば扁平胸、漏斗胸、鳩胸等や脊椎側彎等の人には、夫等に適した泳法を行はせる事に依て之れを矯正する事が出来るのである。

#### (八) 水泳は運動量を加減する事が出来る。

前述の如く水泳は體重を負擔せずに行はれる運動であるから、此點に於て運動量は少ない。又水中に行はれる抵抗運動であるが臂脚の動作を靜かに行ふときは左程の運動量を要しない。即ち水泳は僅少の運動量で行ふ事が出来る。反之、臂脚の動作激烈な場合に於ては前述の如く之れに比例して水の抵抗大となるため、運動量は可なり大なるものとなる。故に水泳は、方法によつて、其運動量を加減する事が出来る。併し靜水中にて神傳流の「草」を泳ぐ事は老人に課しても決して無理な運動とは云へない。

#### (九) 水泳の神經に對する作用。

之れを水泳といふよりも寧ろ水の作用とすべきものかも知れないが、水中で爲される體育は水泳のみであるから茲に一言する。

冷水又は微温水の神經鎮靜作用ある事は我國に於ても、昔から知られてゐたと見えて、冷温泉や瀧にうたれる事が精神病や神經衰弱症などの治療法として行はれてゐる。又水治法なども同様の理由で効果がある。それ故に、日々腦を使用して居る所謂ブレ

イン・ウォーカーには水泳こそ、其リクリエーションに効果あるものと思はれるのである。精神の興奮を鎮める作用があるから、昂ぶる心を落ちつけ沈着な精神を養成する事が出来るのである。

以上は醫學的見解から考へた貧弱な私見であるが、水泳の實用的價值に至つては茲に云々する必要もなからうと思ふ。唯目下の非常時機に際して特に一言したき事は、昭和十一年度の我水上競技聯盟の水泳指導者講習會の懇親會上で、某大尉が話された事である。それは陸軍では特に水泳訓練所を設けて、水泳のみならず、水中に於ける軍事行動の研究訓練をして居る。それは、從來陸軍に於て殊勳を建てる者は、多くは水練者であつて水邊の戦争に於てなされたものであつた。それで斯様な訓練を重要視して居る云々との事であつた。今回の事變にあつても必定、同様の事が實證されたに違ひはないと思ふ。

以上の如く水泳は、凡ての點から考へて國民必須のもので、寧ろ普通教育に課して教ふべきものと思ふ。文部省制定の學校體操教授要目の中にも正課として授業時間中に課しても宜しい事になつて居る。然し現在正課として水泳を正しく指導して居る學校がどれ丈ありやといふと心細い限りである。

試に東京市内の小學校プールを參觀して廻はるとプール施設の不完全なもの多く、又兒童は只水遊びをして居る状態であつて、正式泳法を指導して居る所などは、曉天の星の數よりも少ない有様である。之等は學校當局が水泳に關する了解を持つて居ないと云ふ事に歸すべきである。併し考へて見ると體操教授要目解説には適當な指導者とは擔任の教師或は體操教師の中で、この方面に關して然るべき心得のある者といふ意味であつて、特にこの爲に専任の教師を必要とするといふ意味ではない云々と、あるところを見ると水泳指導の事を軽く考へて居られる様に思ふのである。凡そ水泳指導者たるには、只泳ぎの上手だけではいけない。他に水泳醫事、救急法、プール管理、水泳指導法、水泳に關する一切の智識を具備する事が肝要である。殊に外の體育と異なつて水泳事故中には溺死といふ事もあるのであるから、他の體育指導者よりは、一層の研究を要するのである。毎年我水上競技聯盟で指導者たらん人のために講習をやつて居るのも以上の必要からであらう。かく考へると一校の中に指導者としての實力を持つて居る教師の居ない所も少くないと思ふ。そんな場合には特に指導者を囑託し得る様にしたいと思ふ。

併し成る丈要目に示す通り學校教員の中に指導者を求めたいのである。水泳を學校體育の正課として授業時間の中に入れるためには、教員が指導するのは至當の事である。それは教育上の知見もあり平素から生徒の氣風をよく知つて居るといふ事が、此際如何に便利な事であらうか、又場合によつては水泳を通じて精神上の薰陶を施す事もあらうと思ふ。

我國は四季の期間が平均に循環して居る國であるから、體育教育を施す場合にも夏季には水泳、冬季にはウインター・スポーツ、春秋には球技、陸上競技を課して、尙之等スポーツの基本たるべき體操は四季を通じて行はれる事が當然であらうと思ふ。北海道の小學校では體操の時間にスキーを課して居る所もあるが、授業時間に水泳を指導して居る學校もありさうなものである。

以上述べた如く、水泳は實用的にも體育的にも必須であり、正課として教授しうる状態にあるにもかかわらず、學校教育としてあまり振はない現状である。此現状を打破して國民皆泳の實を擧げんとするには

一、水泳場の完備

一、指導者の養成

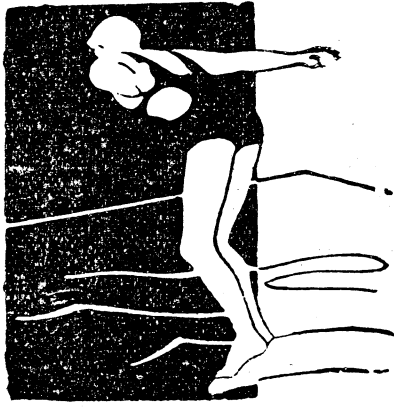
を企てる事が急務ではあるまいか。

水泳場に就ては、川、沼、湖、海をそのまま應用し得る地方にありては、何等の施設費用を要する事もないが、都市にあつては完全なプールを設備する事が肝要である。此の爲には多額の費用を要するであらうが、實用を主とすれば數千圓にて足りる事と思ふ。數千圓の費用は、決して少額とはいへぬかも知れないが、プールの設備は水泳道場以外に大なる役目を果たす事が出来る。防火用貯水池が之である。井戸に乏しい現在では、水道の水を防火用に供するより仕方ないのであるが、水道の水だけでは到底不十分である。

何となれば、一秒間にホースより出る水の量は僅かであつて相當の水量を得て之を運搬する迄には相當の時間を要する。若し此場合附近にプールがあつて満々と水が湛へてあつたなら如何に便利な事であらう。

市民の體育とその防火のために、市當局や學校關係者の協力を希望する。又指導者養成の必要な事は前述の通りであるから再贅言しない。切に教育當局者の諒解と我水上競技聯盟に一層の努力を御願する次第である。





# 第十七回日本學生選手權 水上競技大會觀戰記

日本學生水上競技聯盟

横尾清吾

インタカレツデは面白い、面白いと云つてすまぬ位に面白い、殊に今年の様、慶日早立と力を同じくして覇を争はんとし、渾沌たる戦前の空氣の唯中に情報はデマを織混せて各校先輩、關係者の自信たつぷりの宣傳の交錯する九月上旬、中旬の聯盟事務所にあつては冷靜に豫想の糸すぢをたどるすべもない。従つて勝敗の歸趨は完全に混亂の渦中にまきこまれて不明であつた。

生意氣なことを云ふ様ですがインターカレツデは人間的に云つて老巧選手、新人選手、經驗豊かな先輩陣が一丸となつてチームを作り更にその構成員の数が又大きな力を有し、時間的に云つても秋の試合に對してコンディションを如何に持つてゆくか、特に新人選手はインタミドル其他大きい試合が八月迄に終つて秋の大試合の經驗が浅いと云ふこのハンデキャップを如何にして克服するか、従つてこの反面所謂老巧選手がその數度のインタカレツデ出場經驗に物を言はせて精神的肉體的優越な立場で試合をなしうる特權がある、精神的に云つてもあらゆる強豪の中に互して母校の名譽チームの傳統のために對校争覇試合を戦ひとらねばならぬと云ふ責任を真正面から受け、試合前、試合中に於て自軍或は敵軍の活躍如何によつて豫測されない一上一下の精神的動搖の導火線にたへずおびやかされるであらうし、肉體的に云つても精神力の差が肉體的の差となつて現はれることも考へられる、チームとして又個人として練習量の問題、調子の持つて行き方に違算なからしめる細心の研究と努力が要請され、或は一寸した不注意から來る肉體的障害が、たとへ僅かのマイナスでも實力伯仲の角逐場裡にあつてはその希望が斷ちきられる事は容易にありうる。以上主として個人的な立場に立つて來たが、インタカレツデは總體的にみて完全なる團體競技である。上述した様な要素が相互に密接に結びついて総合的に最高調子に乗つて争覇

試合へ驀進する、個人は所屬チームの熱と意氣と制覇の必要分子となり、團體又個人に對してその誇るべき傳統と必勝の精神をたゞきこむ。經驗豊富な先輩又その經驗を傾けて制覇の秘訣とその道を指示する。或は敵を知り、又己れを知り、人員の配備を整へ、敵に對する心構へを授けチームのまとまり、自軍を完全にリードできる統帥の人、參謀の人が又必要とされる。かくの如くあらゆる點から自軍の防禦陣と攻撃陣を固めつくして渾然たる一つの有機體を作つて制覇へと一路邁進する。

以上理屈に墮したが、これから十七、十八日の試合を振返つてみよう。

(第1日) 9月17日 氣温 22 水温 23

100米自由形豫選

A 組

鷺谷(日) 1;01,8 高尾(慶) 谷口(早)  
大崎(立)

B 組

杉浦(早) 1;01,0 宮崎(慶) 本田(立)  
森原(日)

C 組

佐々木(日) 60,0 鶴岡(立) 壺田(早)  
長谷川(高松)

D 組

新井(立) 58,6 杉田(早) 串田(關學大)  
島本(慶)

100米平泳豫選……(バ)はバタフライ

A 組

長久(慶) 1;17,0 大林(早)(バ) 大浦  
(立) 葉室貞男(日)(バ)

B 組

葉室鐵夫(日) 1;15,2 小池(慶) 古川(早)  
加藤(立)

C 組

吉田(早)(バ) 1;19,6 田崎(關學大)(バ)  
上山(立)(バ)

D 組

山田(早)(バ) 1;17,4 田口(日) 山口  
(明) 高橋(關學大)(バ)

100 米背泳豫選

A 組

吉田(早) 1;10,2 河野(日) 門屋(立)

B 組

内館(早) 1;15,4 堀(慶) 立石(日)

C 組

坂本(立) 1;14,2 山本(早) 原(日)

D 組

兒島(慶) 1;09,6 谷口(日) 平賀(立)

800 米自由形豫選 三等迄入選

A 組

1. 片山 崇(慶) 10;26,6
2. 栗原 徹(日) 10;34,0
3. 岩切 主(立) 10;46,0
4. 船倉 賢次(高松) 11;22,6

B 組

1. 寺田 登(慶) 10;23,4
2. 田中 英作(早) 10;23,8
3. 越戸 優一(日) 10;31,2
4. 本間 俊夫(立) 10;50,4

本間元氣なく豫選に落ちる。

C 組

1. 牧野 正藏(早) 10;12,4
2. 高橋 弘(慶) 10;12,4
3. 天野 富勝(日) 10;13,0
4. 伊藤 憲利(日) 11;11,8

牧野、高橋二人で天野をさいなんだ貌となる、天野はかゝる大試合に於て始めて最強豪と組んで戦ひにくかつた事と察せられる。本日随一の好レース。

200 米自由形三等迄入選

A 組

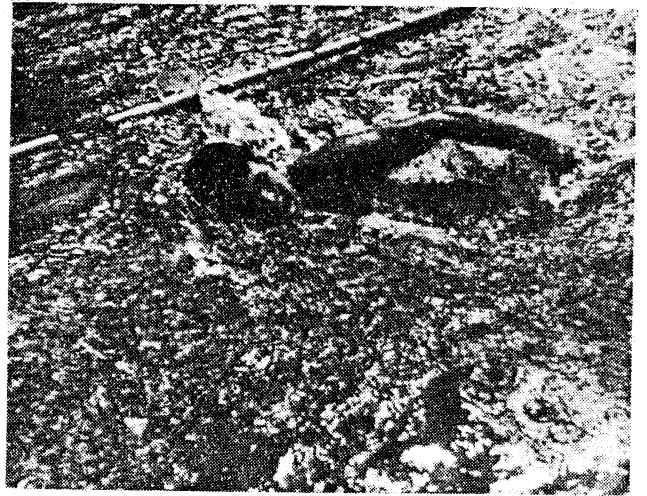
1. 鷺谷 光明(日) 2;18,4
2. 鵜藤 俊平(立) 2;19,0
3. 杉田 芳郎(早) 2;20,0
4. 馬場 止(日) 2;20,6

B 組

1. 新井 茂雄(立) 2;10,6
2. 杉浦 重雄(早) 2;22,2
3. 中澤 脩(慶) 2;25,2
4. 市野 重治(立) 2;29,6

日本並大會新記録

新井前半 1;02,2 で入る。過日關東豫選の時出した 2;09,6 には及ばなかつたが、昭和 10 年遊佐君の出した 2;11,2 の日本記録を堂々と破る。此の記録も亦世界長水路最高記録である。



【寫眞】 200 米力泳の新井君

C 組

1. 新聞 六炳(早) 2;18,2
2. 島本 信美(慶) 2;20,8
3. 壺田 重三(早)

50 米自由形豫選 入選者

A 組

柴原(日) 27,2 高尾(慶) 山田(明)  
森本(關子大)

B 組

井上(慶) 27,8 矢住(關學大) 小野(早)  
大崎(立)

C 組

宮崎(慶) 26,8 長谷川(高松) 庄田(關學大)  
森原(日)

C 組

佐々木(日) 26,8 鶴岡(立) 串田(學子大)  
谷口(早)

200 米平泳豫選 入選者

A 組

大浦(立) 2;49,6 長久(慶) 古川(早)  
野田(明)

B 組

小池(慶) 2;46,8 田口(日) 川野(早)  
稻垣(中大)

C 組

加藤(立) 2;55,6 山口(明) 三輪(早)  
葉室貞男(日)

D 組

葉室鐵夫(日) 2;50,6 寺田(早) 上山(立)  
近藤(中大)

50 米背泳豫選 入選者

A 組

兒島(慶) 31,2 河野(日) 門屋(立)  
奥田(早)

B 組

立石(日) 34,4 堀(慶) 山本(早)  
神田(岐阜薬専)

C 組

谷口(日) 31,8 平賀(立) 内館(早)  
藤堂(明)

D 組

吉田(早) 32,0 坂本(立) 井上(慶) 山田(明)  
400 米自由形豫慶 3 等迄入選

A 組

1. 天野 富勝(日) 4;55,4
2. 田中 英作(早) 4;56,6
3. 篠崎 正也(早) 5;09,4
4. 鶴藤 俊平(立) 5;13,6

田中 300 迄元気で天野をリードする。鶴藤の落選は本間の 800 米に於けるそれと同様に立教にとつては痛い。

B 組

1. 寺田 登(慶) 4;54,6
2. 牧野 正藏(早) 5;00,2
3. 栗原 徹(日) 5;00,8
4. 片山 崇(慶) 5;01,2

栗原と片山の入選争ひは面白い。余裕をもつて泳ぐ牧野知つてか知らずかずつと二者に追いつめられたが危氣なく勝ち片山は惜しくも栗原に敗る。

C 組

1. 高橋 弘(慶) 4;53,0
2. 新聞 六柄(早) 4;58,0
3. 越戸 優一(日) 4;58,8
4. 本間 俊夫(立) 5;03,6

本間又落ちる。長距離陣に於ける立教の不振は意外で四校鼎立の一角が此處にもろくも崩れ出した。

長距離に於ける、高橋、天野、牧野、寺田の争覇戦こそ白眉の試合であり、又天下分ケ目の一大激戦となりさうである。牧野の健在な事の本根は精神乃至は心構えにある事を焼き付けてくれて無條件に頭が下がらざるをえない。

100 米自由形準決勝 3 等迄入選

A 組

1. 佐々木 猛(日) 1;00,6
2. 杉浦 重雄(早) 1;01,2
3. 宮崎 康二(慶) 1;01,8
4. 鶴岡 榮(立) 1;02,0

宮崎元氣一杯に泳ぎ鶴岡を敗る、慶應は新人強く老巧も亦強く豫選を通じて力強く劃された一線の跡注目するに値すべし。

B 組

1. 新井 茂雄(立) 58,0
2. 鷺谷 光明(日) 1;02,0
3. 壺田 重三(早) 1;02,4
4. 杉田 芳郎(早) 1;03,0

背泳から轉向した鷺谷確實に入選、壺田の入選を賞すべきか、將又杉田の落選を意外とすべきか?

100 米平泳準決勝 3 等迄入選

A 組

1. 葉室 鐵夫(日) 1;16,2
2. 長久 俊三(慶) 1;16,2
3. 大林 嗣生(早) 1;18,4 (バ)
4. 吉田 三郎(早) 1;19,8 (バ)

B 組

1. 小池 禮三(慶) 1;15,0
2. 山田 弘(早) 1;16,0 (バ)
3. 古川 敏(早) 1;16,4
4. 大浦誠一郎(立) 1;17,4

古川よく大浦を制して入選す、早大陣の潑潑たる意氣「これあるかな」を叫びました。

100 米背泳

A 組

1. 兒島 泰彦(慶) 1;12,2
2. 河野 道廣(日) 1;12,8
3. 平賀 孟(立)

B 組

1. 谷口 利弘(日) 1;10,4
2. 吉田 喜一(早) 1;14,
3. 坂本 响一(立)

兒島、吉田、坂本、河野、次の 200 リレーに出場のためゆつくり泳いで入選。

200 米繼泳決勝

1. 慶 大(井上、宮崎、小池、兒島) 1;47,0
2. 立 大(新井、坂本、本田、鶴岡) 1;48,6
3. 日 大(柴原、佐々木、河野、鷺谷) 1;49,4
4. 早 大
5. 關學大

6. 高松高商

トツプの新井(立)一體身リードしたが宮崎坂本に迫り、更に本間の時立大は小池に抜かれ、之を引繼いだ兒島も強く鶴岡の急迫も効を奏しなかつた。慶は宮崎だけが純粹の自由形人で残りの三人は背泳と平泳(尤も井上は 50 free と Back に出場)に出場してゐる外、立大の坂本、日大の河野、早大の吉田等自由形短距離陣はかくも亂されつくしてゐる。

得點 慶—7 立—5 日—4 早—3

關學—2 高松—1

かくして第一日終了。長距離、平泳に於ける立大の失敗は制覇の希望を断ちきつたものと考へられる。戦前非力をうはさされた早大は制覇圏内へ堂々と乗出して来て力強い一線を印象づけ、更に 200 リレー快勝に意氣大に揚がつた慶大と、數の多きを誇る日大、この三校が第二日最初の 400 自由決戦から輝かしくも鋭い出足を競つて明日の決勝試合を押切らんと虎視眈々の態勢である。戦半ばから押寄せて驟雨をもたらしした黒雲は今第一日を終了した神宮プールを闇に包んでゐる。各校選手、先輩の胸中に湧き立つ明日への見込つかざる見込は、自信不安を織混せて千變萬化の嵐と化し覆ひかぶさつた黒雲と呼應してゐる。あゝ近年稀なる大試合、明日の試合への期待こそすべての水泳人に許された特權でなければならぬ。選手諸兄の休息安眠を祈つて第一日の筆を下す事にする。

第 2 日 氣温—24 水温—24

50 米自由形準決勝

A 組

1. 佐々木 猛(日) 27,0
2. 長谷川卯佐美(高松) 27,6
3. 井上 秀雄(慶) 27,6

B 組

1. 宮崎 康二(慶) 27,2
2. 柴原 恒雄(日) 27,8
3. 高尾 龍實(慶) 27,8

慶應よく三人を入選せしむ。日大二人早大無

200 米平泳準決勝

A 組

1. 葉室 鐵夫(日) 2;48,4
2. 長久 俊三(慶) 2;51,0
3. 古川 敏(早) 2;51,2

B 組

1. 小池 禮三(慶) 2;47,0

2. 大浦誠一郎(立) 2;50,0

3. 野田 務(明) 2;52,6

戦ひが白熱化して來た。B 組で野田よく寺田(早)をタツチで破り、明大陣唯一の決勝出場者となる。

50 米背泳準決勝

A 組

1. 兒島 泰彦(慶) 31,6
2. 河野 道廣(日) 32,8
3. 坂本 响一(立) 33,2

B 組

1. 吉田 喜一(早) 32,0
2. 谷口 利弘(日) 32,2
3. 奥田精一郎(早) 33,4

奥田よく立の平賀、門屋を抑へて入選

以上で準決勝が終了。リレーを除いて決勝出場者は早大—19人、慶大—17人、日大—17人、立大—8人、明大—1人、高松—1人、愈々早慶日の三巴戦となり、戦前元氣を豫想された立大が意外の不振で全く競争圏外に逸し去つた。三校量、質、共に接近して決勝戦を迎へる事になつたが、すべての振出しが最初の 400 米自由形如何にかゝつてゐる。

400 米自由形決勝

量から云へば早大 4 人、日大 3 人、慶大 2 人。入賞者が 6 人で 3 人が無得點者となる。上位の争ひと下位の得點稼ぎは優勝をかけて、此の一戦は新進天野の度胸だめしと昨日元氣をみせた田中(早)が牧野を援護して慶の寺田、高橋に如何に迫つてゆくか、10 時 18 分戦の幕が切つて落された。

最初 100 米迄寺田、高橋、牧野、天野並行、寺田やゝ飛出して 1;06,2 で入る。200 米で天野やゝ出たが寺田依然として 2;20,4 で入る。篠崎(早)新聞(早)ずつとおくれる。250 米のターンを了へて高橋はぐつと出て來た。寺田に代つて高橋は先頭を進む。續いて寺田、天野、牧野、一寸おくれて 2 コース越戸(日)、8 コース栗原(日)が泳ぎ、田中(早)は昨日の元氣を忘れたかの如く栗原の飛沫をあびて泳ぐ、更にその次を篠崎、新聞が泳いでゐる。優勝がかゝつてゐるこのレース、早大陣は牧野一人に泳がせて後の三人は日大陣にもおかれてゐる。慶應は作戦かどうかは知らんが、寺田先づ飛出しそのリードを 250 から受けついで高橋がトツプを切つて力強いストロークで進んでゐる。かくして 300 を

3;34,6 で入った高橋は 2 米のリードをとつたまゝ最後のターンにかゝつた。

375 米迄高橋確實にリード、370 あたりで天野足を使つて猛烈なラストスパートにかゝればそれに呼應して牧野も得意のスパート、續いて寺田、然し高橋は 200 を過ぎてからのリードが効を奏して最後迄他を壓し、天野、牧野、寺田と三人の間で猛烈な競合を演じつつ高橋を追つたが結局最後迄三人の競合に終始して高橋先づゴール、高橋に 4 カキおくれて天野ゴール僅かにおくれて牧野ゴール、次に五カキおくれて寺田ゴール、栗原(日)と越戸(日)はよく早大陣を抑へて 5, 6 等に入る。

1. 高橋 弘 (慶) 4;48,0
2. 天野 富勝 (日) 4;51,6
3. 牧野 正蔵 (早) 4;52,0
4. 寺田 登 (慶) 4;53,8
5. 栗原 徹 (日)
6. 越戸 優一 (日)

得点 慶—10、日—8、早—4、昨日の 200 リレーを合計すると、慶—17、日—12、早—7 点、慶、日間の開きは恢復の望あるとしても慶早間の開き 10 点は殆ど致命的な開きじやないかと思はれる。慶 2 人出場して 2 人共得点し、日大 3 人出場して 3 人共得点し、量を誇つた早大が 4 人の中 1 人しか得点できなかつた事は大きい誤算であつたに違ひない。精神的に受けた打撃も小さい事はあるまい。かくして次の決勝出場者は早大 15 人、慶大 15 人、日大 14 人となつたが、此のレースにおける早大の失敗はその前途に早くも暗影を投げかけた如く感ぜられた。

#### 100 米自由形決勝

1. 新井 茂雄 (立) 58,4
2. 佐々木 猛 (日) 58,8
3. 杉浦 重雄 (早) 1;01,4
4. 宮崎 康二 (慶) 1;01,4
5. 鷺谷 光明 (日)
6. 壺田 重三 (早)

新井 27,4 で 50 のターン、佐々木滑出しよく新井にくらひついて 70 m あたりからぐんぐん出る、新井苦戦の態であつたがラストよく利いてゴール、宮崎、杉浦、鷺谷は三人で競合ひ結局杉浦タッチで宮崎を破る。壺田はやゝおくれる。佐々木の記録 58 秒臺は賞讃されていいと思はれる。

#### 100 米平泳決勝

1. 葉室 鐵夫 (日) 1;13,0
2. 小池 禮三 (慶) 1;13,2
3. 山田 弘 (早) 1;15,2
4. 長久 俊三 (慶) 1;16,2
5. 古川 敏 (早)
6. 大林 嗣生 (早) (バ)

日本新記録  
並大會新記録  
大會新記録  
(バ)



頑張れ！ 葉室 頑張れ！ 小池

50 米では 2 コースから 5 コースへかけての葉室、大林、山田、小池が同時にターン、古川長久やゝおくれた。70 米あたり迄山田出て小池をやゝリード気味、それから小池猛烈に頑張れ葉室に迫る、90 米で山田は葉室、小池におくれ更に後半勢を増して迫つて来た長久と古川に差をつめられた。結局葉室はタッチで小池を破り山田は三着に入り、長久又タッチで古川を破る得点合計は慶—28 点、日—26 点早—19 点で 800 リレーを除いて 6 試合、出場人員は慶大—12 人日大—10 人、早大—10 人、立大—7 人を残してゐる。早大が残る 800、200 自由形で大勢を如何に挽回するか、更に全く激戦、接戦をくり返す慶、日が如何にして確實なリードをなすか試合の第二の山が眞近に迫つたと云ふ感が深い。

葉室の日本對記録並びに葉室小池の大會新記録は小池の昭和 10 年神宮プールで出した、1;13,0 及 1;13,6 を破る記録である。

#### 100 米背泳決勝

1. 兒島 泰彦 (慶) 1;08,8 大會新記録
2. 吉田 喜一 (早) 1;10,4
3. 谷口 利弘 (早) 1;11,0
4. 坂本 响一 (立) 1;11,4
5. 河野 道廣 (日)
6. 平賀 孟 (立)

兒島最初から飛出し、吉田、谷口之にくつつき、谷口 80 米あたりから吉田に迫つたがそのまゝゴール、坂本奮戦空しく谷口に僅かにおかれて 4 等に入る。

得点合計 慶—35点、日—32点、早—24点、  
立—16点。

兒島の大會新記録は昨年同君の作った 1;09,2  
を破るものである。兒島の表彰式あり三色旗風  
になびき大樹の後の白き飛雲は慶大の野心をは  
らませて宿望達成の微風がスタート臺から飛込  
臺へと吹きまくつてゐる。

#### 800 米自由形決勝

1. 天野 富勝 (日) 10;04,2
2. 高橋 弘 (慶) 10;05,2
3. 牧野 正藏 (早) 10;14,6
4. 寺田 登 (慶) 10;14,8
5. 片山 崇 (慶)
6. 栗原 徹 (日)

慶大3人、日大3人、早大2人、立大1人、計  
9人出場。

スタート直前、寺田タンクの如き巨體をどつか  
と下し、天野必勝を期してか顔色蒼白、牧野プ  
ールの水をなめて無心の境、高橋又さりげない  
態度で松澤審判長の笛をまつてゐる。スタート  
した。天野が出た、寺田は重い腕を輕快にあ  
しらつて天野に続く。天野 1;07,8 で 100 タ  
ーン、續いて寺田、牧野、150 米のターンもそ  
のまゝ。200 は天野先づ 2;23,4 で入り寺田、  
牧野、高橋も 25 秒臺で入る。250 m で天野は、  
寺田、高橋を一體身リード、2 m おくれて牧野、  
300 は天野 3;39,8 で入り、高橋、寺田は 3;41,  
で入る。牧野約 4 m おくれてターン。田中と  
岩切がおくれ出した。350 では高橋やゝ出天野  
に一體身リードされ、やゝおくれ寺田、それ  
より 3 カキおくれ牧野ターン、400 は天野  
4;57,4 で入り二カキおくれた高橋も 58 秒臺で  
入る。後半戦に入つたが接戦の續行である。  
500 を天野は 6;15,4 で入り、一體身の差をつけ  
られて高橋 16 秒臺、牧野は寺田に半體身おく  
れて 6 分 20 秒臺でターン、それらにおくれた  
組で片山、やゝ出て、越戸と栗原が接戦を繰返  
してゐる。600 m で天野と 4 着の牧野の差約 5  
米、天野は 7;32,8 で入り高橋 7;35 續いて寺  
田。牧野がやゝ出て來た。700 米天野依然とし  
てリード 8;50,0 で入る。一體身おくれ高橋、  
寺田やゝ牧野をリード、天野と牧野の差依然と  
して約 5 米。牧野猛烈に出て來た。750 米のタ  
ーン、戦ひは正に酣である。天野は高橋を 2 カ  
キ離し、高橋は寺田を 3 カキ離し、寺田は牧野  
を 2 カキ離してよいよ最後のスパートにかゝ

つた。天野足を利かして物凄く、之を懸命に追  
ふ高橋のスパートも見事だが、天野も強く今か  
今かと、残る距離 40 米、30 米、20 米、10 米、  
5 米にすべての興味を焦點さしたが、天野の強  
さはそれ迄の僅かのリードに勝をおさめさせた  
のである。天野も強い。高橋も強いその強さに  
ふさはしい熱戦の實況は今でもはつきり眼にう  
かぶ。續く寺田、牧野も同様の熱戦をくり返し  
て、スタンドの猛聲援裡に牧野は神秘的なラス  
トを利かせて 0.2 秒の差で寺田を破る。つゞい  
て片山、栗原ゴール。技術の未だに走る事なく熱  
に競ひ意氣に戦つた戰士諸兄の努力に對しては  
入賞順なんかは全く問題外である。全く學生精  
神の粹を傾けて戦はれた戰士諸兄の存在は日本  
學生水上競技聯盟のゆるぎなき健在を證するに  
餘ある。



力泳、力泳、ターンをする天野

得点合計 慶—45、日—40、早—28、立—16

尙本大會記録であり同時に世界記録である牧  
野君の 9;55,8 は燦として輝き不滅の光を放つ  
てゐる。

#### 200 米自由形決勝

1. 新井 茂雄 (立) 2;12,0 大會新記録
2. 鷺谷 光明 (日) 2;17,0
3. 杉浦 重雄 (早) 2;18,6
4. 杉田 芳郎 (早) 2;19,2
5. 鵜藤 俊平 (立)
6. 新聞 六炳 (早)

新井 1;02,8 で 100 ターン、續いて 4 コース  
鷺谷、6 コース杉田、5 コース島本、8 コース  
鵜藤、1 コース杉浦、壺田、新聞の順にターン  
鵜藤懸命に頑張つて入賞、島本も前半よかつた

が150過ぎて等外におち惜敗、鷺谷は二等に入賞して大功を樹て慶の島本、中澤共に無得點に終つて此處に慶大と日大は45點の同點となる。四つの試合が後に残つてゐる。決勝出場者は慶大6人、日大5人である。全體的に云へば、次の50m自由を第三の山として慶大陣や、優勢である。それにしても日大の平泳陣の總崩れは何とした事か、200平、100平共に主將葉室に孤軍の死闘をいどませてゐるのである。親の心子知らずと云ふか、優勝を前にして數の少いことは何としても痛い。之に對して慶は小池、長久と二人で數を以て力強く日大の前に立ふさがつてゐるのである。

#### 50 米自由形決勝

1. 宮崎 康二 (慶) 26,6
2. 佐々木 猛 (日) 26,8
3. 長谷川卯佐美 (高松) 26,8
4. 井上 秀雄 (慶)
5. 高尾 龍實 (慶)
6. 柴原 恒雄 (日)

長谷川三等に入賞して新鮮の氣を吹きこむ。慶大3人で12點を獲得。宮崎の殊勳と云ひ、井上、高尾の下からの確實な支へと云ひ慶大は抑へるべき所を確實に抑へて此處で慶大の優勝が殆んど確定した。

#### 200 米平泳決勝

1. 葉室 鐵夫 (日) 2;42,8
2. 小池 禮三 (慶) 2;43,0
3. 大浦誠一郎 (立) 2;48,6

4. 古川 敏 (早) 2;49,4
5. 長久 俊三 (慶)
6. 野田 務 (明)

小池最初より飛ばして葉室をリード、175當りから葉室懸命に頑張り小池の最後の死闘をタッチで破る。100平と云ひ、この試合と云ひ小池にとつてはあきらめられない一戦であつたらう。早の古川よく50秒を割つて100平で破つた大浦へ迫つて來年への期待を大きくする。此處で慶大は日大を6點リードして優勝を不動のものにする。

#### 50 米背泳決勝

1. 兒島 泰彦 (慶) 31,0
2. 谷口 利弘 (日) 31,8
3. 吉田 喜一 (早) 32,0
4. 坂本 响一 (立) 32,4
5. 河野 道廣 (日)
6. 奥田精一郎 (早)

谷口よく吉田を破つて2等に入る。

#### 800 米リレー決勝

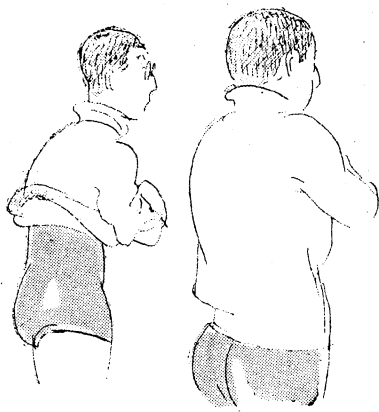
1. 立大(新井、本間、岩切、鶴藤) 9;11,8
2. 早大(杉田、新聞、牧野、杉浦) 9;14,8
3. 慶大(高橋、寺田、渡邊、島本) 9;15,8
4. 日大(佐々木、天野、栗原、鷺谷) 9;21,6
5. 關學大(村井、庄田、森本、串田)
6. 高松高商(抱、谷村、船倉、長谷川)

新井のリードを受繼いだ立教陣は最後迄リードを續けた。續く早慶の熱戦は猛烈な聲援裡に牧野先づ奮闘してその差をちぢめ更に杉浦の急

得 點 表

	200 米 リレー	400 米 自由形	100 米 自由形	100 米 平 泳	100 米 背 泳	800 米 自由形	200 米 自由形	50 米 自由形	200 米 平 泳	50 米 背 泳	800 米 リレー	計	順位
早 大	3	4/7	5/12	7/19	5/24	4/28	8/36	0/36	3/39	3/44	5/49	49	3
立 大	5	0/5	7/12	0/12	4/16	0/16	9/25	0/25	4/29	3/32	7/39		4
慶 大	7	10/17	3/20	8/28	7/35	10/45	0/45	12/57	7/64	7/71	4/75		1
日 大	4	8/12	7/19	7/22	6/32	8/40	5/45	6/51	7/58	7/65	3/68		2
明 大									1/1	0/1	0	1	
關學大	2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	2/4		6
中 大													
高松高商	1	0/1	0/1	0/1	0/1	0/1	0/1	4/5	0/5	0/5	1/6		5
岐阜薬専													

一等 7 點 二等 5 點 三等 4 點 四等 3 點 五等 2 點 六等 1 點



追は島本を陥入れて早慶戦の雪辱をなした。日大はやゝおくれて四等に入選。

かくして慶應大學は初の制覇を堂々と成し就げた。優勝候補の日大は慶大に対して絶へず受身の制覇戦を挑みつづけたが、一旦200自由で同点迄こぎつけたその體勢がその後の50自由、200平泳、50背泳に於て慶大から數でもつて押まられて結局7點の差で惜敗した。早大の第一日に示した底力は大いに期待されたが今一步の所で慶、日兩校に対して非力を認めざるをえなくなり三位におちた。

慶應陣の堂々たる布陣は、精神的に又肉體的に覇者の姿にふさはしく、決勝出場者17人(リレーを除く)の中15人が夫々得點して制覇の責任を共同に分擔してゐる。各レース毎に残した慶大の足跡の力強さを讃へやう。

その慶大は200自由の無得點が數へらる唯一の失敗であり、殊に200繼泳と50自由の成功は第一に精神的に如何程に慶大陣を奮起させたか分らない。外寺田が飛出して後で高橋がそのリードを引つゞ長距離の勝利的作戦と云ひ數で誇り質に誇つて慶大陣の優勝は一言にして云へば優勝すべきものが優勝したと云ひうるであらう。小池主將を先頭として之を援護して宮崎、寺田、高橋、兒島、長久、高尾の所謂老巧がkey pointを確實に抑へて泰山の重きにおき井上、片山、中澤島本、渡邊等々の新人は老巧先輩の縁の下の方石となるには完全すぎたのであつた。

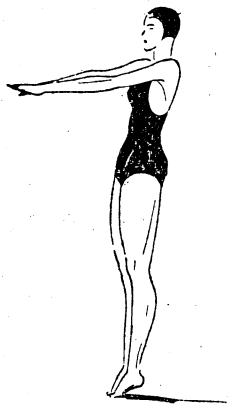
勝てば官軍敗れば賊軍のたとへを持出すのは心ない局外者の言であり學生聯盟に關係あるものとして二位の日大、三位の早大、四位の立大外遠來の高松軍、關學大軍に対してこの歴史的な熱戦展開の光榮ある分擔者として、その拂はれた努力に対しては深き敬意を表せざるをえない

日大陣に惜まるゝは、先輩陣の手薄さであつた。豊田、安永兩先輩のゐない日大陣に遊佐、杉本兩先輩あるのみ、而もインタカレッヂに於ける先輩の絶對的必要さは多言を要するまでもない。この手薄い先輩陣の心細さを押し切つて敢然と制覇戦に突撃した葉室主將村上マネジャー外上級生の苦惱は察するに餘ある。豊富な若き日大軍の戰士諸兄はこの試合でうけた悲運と上級生の苦惱を忘れてはなるまい。若い故に努力の行途に光明はあつても、若い故に呑氣な偷安の夢は決して許されないであらう。日大は17人決勝出場の中16人が得點してゐる。

正體をかくした早大に對する世上の批評は相當にもやもやしてゐた。輝かしき歴史と豊富な有力先輩を有する早大水泳部の傳統が一年位でくずれ出してたまるものか。第一日目に見せたこれみよがしの地力が19人と云ふ決勝出場者を出してゐる。得點者は14人だつたが惜しい所慶大と逆にこれと云ふkey pointを抑へ逸して悲憤の涙をのんでしまつた。第一日目に見せた元氣が二日目にはたとと止つて不思議に思はれたが、それにしても批評に抗して氣負ひ起つた戦の跡はその歴史、傳統に對しては未だ未だ小さすぎる。松澤一鶴氏の讀賣紙上での後評が一番ひしひしと胸に感ぜられる。夏から初秋へかけての準備では間にあはぬインタカレッヂに對しては既に今から乃至はおそく共春から確固たる心構へが第一に必要とされるのではあるまいか。氣を以て體に勝つと云ふ語は不適當だが少く共氣を以て體に先んずる言を生意氣にも呈上したい。立大は8人の決勝出場者の内7人の得點者を出したが數が少い。長距離の不運、平泳の失敗等確實な所を失つたので失點が目立つ。人數が少いと云ふ事は非常に戦の條件を悪くする。その點立大は色々の點に於て損な戦ひをして、一つの目の不運二つ目の不運が重つて消極的な戦をなした。然し一年中いつでも確實に強い新井の強さには全く驚かされる。立大も更に一段と根上主將頃の精神力を呼び戻して欲しいものだ。800リレーに勝つて有終の美をおさめた事は氣持がよかつた。願はくばあの優勝をスタートとして前進して欲しい。

高松高商の長谷川が50自由に堂々と三等に入選し清新の氣を注入してくれた事は新しい刺戟を身感じて氣持よかつた。外關學大の健闘等關西方面から迫り來る新しい火の手が燎間の火と燃えさかつて關東勢に太刃打する日の近きを期待して止まない。





## 日本女子 中等學校 競技の今後

横濱水泳協會

白山 廣子

去る八月十九日、二十日、二十一日に開かれた日本選手権に於て我女子軍も堂々其選手量に於て、又質に於て相當の充實さを見せ其上各種目にも思はず熱を湧き立たせた活氣ある競技を展開した事は誠に喜ばしく、久しく望んで居た物を與へられた満足感に得々とした物でした。其參加團體はやはり女學校を主とし其中に實業團俱樂部、OGの七八名を加へた物でありましたが、女學校は遠く臺灣よりの臺北臺中の二校をも加へて實に二十六校を數へ、ピラミットの底邊の漸く搖ぎなき確實さを見た事は又一層の力強さでもありました。所で此れより一週間後れて名古屋に開催された日本女子中等學校對抗並びに一般女子水上競技大會に關してであります。此會も既に三歳を経て漸く世に出で自然各方面から折々將來への御希望も頂きまして至らざる所感の一端を述べて皆様の御批判をも賜り御一緒に尙今後への發展を期したいと存じます。

此一二年來末弘會長の御提唱による國民皆泳の主旨は水上聯盟の努力によつて各方面に現れ、特に小學兒童の目覺しい發達に其實を伺ふ事が出來ますが従つて遠からず中等學校の競技界にも其選手の大量進出が容易に想像される事とござぬます。尙一方女子中等並びに一般女子競技會の從來の主旨を思ひ浮べます時に既に時代の要求とは幾分の食違ひを見る様になつた事とござぬます。

女學生として男子と一緒に競技に出す事は一應當局省側諸先生の小首を傾げさせ、或は別個の女子許りの競技會を開いてはと云ふ事になり、之は果して良結果を齎らして大阪に於ける第一回大會より既に非常に立派な成績を納め得たのでした。又此會は女子競技發展を望むにはシーズン中に於ける競技會回數が男子に比べて少ない爲と云ふ意味と、今一つ女性の止むを得ざる生理的状況により日本選手権をさへ逸すると云ふ不運より救ふ爲でもありました。然し其後第二回に於ては明治神宮大會の名に於て參

加校は三十校を越え、又第三回は更に其質に於て幾多の大會新記録、好記録を出して順調なる發達を遂げ會其物は既に確實な地盤を作るに至り、従つて大會の主旨は單なる女子競技會の發展に資すると云ふ時代は過ぎていよいよピラミットの高峯を望む時が來たと存じます。其處で不離不束の此女子の二つの會を思ひ切つて切り離し、全く別の催しとして各々其各自の特種性を伸ばす方法を取る事が出來れば非常に幸と存じます。

先づ中等學校對抗競技會を全く一つの成長した會として獨歩させ其存在を一層明かにして、人生の最高潮にある女學生等のあの潑刺たる争覇によつて高峯への精進邁進を志すべきではないでせふか。

さて今少し競技の内部を考へますとこれまでは一種目一校、三名となつて居りますが、之は學校側としては人數の揃はぬ所が多く、又多人數遠征の無理を伴ふ外役員選手いづれにも可成の迷惑であると云ふ説で、之も男子中等學校の規定と同様に一校二名としては如何でせう、(リレー別)いよいよ參加校の多くなるにつれて一層に痛感される事と存じます。

次に從來の五十米自由形を廢して二百米自由形を加へてはとの説は結構な事と思はれます。

オリムピック種目である四百米リレーの追加と云ふ事も中京部の多數選手を持つ學校邊りからは提案されて居る問題ではあります。未だ百米選手を一校で四人揃へる事は全國的には少し苦しい様に見られます。水上競技中には是非欲しい女子の飛込はプールに設備の充分でない事とコーチが得がたい爲に未だに不振である事は誠に残念な事ではありますが、此もヤハリ各校の對抗として飛込の部の採點を別に行つては如何かと存じます。決して望みの無い事ではなく、初等飛込は指導者の導き様によつては容易に興味を持ちつゝ練習の出来る事又其技術體得の妙味爽快さは競泳練習に優るとも劣らぬ事を斷言致します。

次に付け加へ度い事は、では一般女子の行方はと云ふ事になります。今の所では團體としての參加者は凡どなく、個人參加者であります。此會を除いては全國的の物で一般女子の出場し得る競技會は日本選手権と神宮大會と云ふ事になります。然も神宮大會は隔年であり、又前述した如く女性が選手権を逸した場合は地方の記録以外には全く其年の練習の成績は埋れて終らねばならぬ事になります。此意味をも含めて此處に全日本女子水上競技大會の開催を見る事が出來れば、より廣範圍の女性の活躍を期待し得る事と意義深い物が有ると信じます。

# 平泳形水泳選手の胸型に就て

文部省 体育研究所 嘱託  
静岡縣 沼津商業學校 醫

稲玉 信吾

余等は、曩に、男子中等學校生徒に就て、胸幅・胸厚指數(稲玉)  $(\frac{\text{胸幅}}{\text{胸厚}} \times 100)$  に依りて、各種スポーツ修練の胸廓に及ぼす影響を調査研究し、各運動種目に於て、胸型に夫々特徴あることを窺知したると共に、主として側方に向ひ水平舉上の臂運動を多く行ふ運動競技者に在りては胸幅・胸厚指數は大にして所謂「扁胸」者多く、之に反し、概して臂を上方乃至前方に動かす運動或は呼吸運動を主とする運動競技者に在りては、胸幅・胸厚指數は小にして「厚胸」者多き事實を報告し、更に又水泳選手に於て、

平泳の者には「扁胸」多く、自由形及び背泳の者には「厚胸」多きことを發見し、泳法に由つて其の胸廓の形狀に差異ある事實の統計的調査成績を報告せり。

然るところ、今回、遇々第十二回早慶水上競技大會に出場して優勝せる慶應義塾大學の平泳並に自由形の代表的選手の胸廓を測定する機會に接し、その胸幅・胸厚指數に就て獲るところありたるを以て之を報告せんとなす。

今、平泳の小池選手に就ての測定成績を示せば次の如し。

(平泳並 = 自由形水泳選手ノ胸幅・胸厚指數及び胸型)

	年 齡	選手年齢	身 長	體 重	胸 圍	胸廓左右徑	胸廓前後徑	胸幅・胸厚指數	胸 型
平 泳 (小池)	24 歳	9 歳	166.7 <sup>cm</sup>	72.3 <sup>cm</sup>	97.2 <sup>cm</sup>	29.0 <sup>cm</sup>	18.0 <sup>cm</sup>	161.1	扁 胸
自由形 (高橋)	20	7	169.7	75.0	99.0	27.5	20.0	137.5	厚 胸

此表の主なるものに就て觀るに、平泳形小池選手の胸圍は 97.2 糎、胸廓左右徑は 29.0 糎、同前後徑は 18.0 糎にして、その胸幅・胸厚指數は 161.1 を算す。而して男子中等學校通常生徒の平均胸幅・胸厚指數に比して、遙に大にして所謂「扁胸」を示し、胸廓左右徑の發育が前後徑のそれに比し大に勝るを見る。而して、同選手の五年前、中等學校卒業當時に算せし指數 155.6 に對照すれば、更に大なる數値を示すものにして、即ち加年と共に、その胸廓左右徑の發育率が前後徑の發育率に比して益々大なる事を物語るものなり。

次に、自由形高橋選手の胸圍は 99.0 糎、胸廓左右徑は 27.5 糎、同前後徑は 20.0 糎にして、その胸幅・胸厚指數は 137.5 を算す。而して所謂「厚胸」を示し、その胸廓前後徑の發育は其の左右徑の發育に比

し普通の者より遙に勝れるを見る。

斯くして、此の兩者に就ての測定成績は、前回、余等の報告せし水泳選手の泳法別胸型に關する調査成績を、一層良く裏書するものと思ふ。而して此の調査に依りて、彼の多年修練を繼續せる大學選手に在りても、亦、否益々、運動修練に依りて胸廓の發育を可良ならしめ、且つ水泳に在つては、その泳法、就中其の上肢の動き方、即ち水平動或は上下動と、深き呼吸運動とに由つて、或は胸廓左右徑に、夫々、より良き發育を促進せしめ、以て胸廓の形狀に特長を起さしむるてう餘の胸幅・胸厚指數に依る研究が、更に實驗せられたるものと謂ふべきなり。

依つて、少例には過ぎざれども、茲に、之を報告して、尙今後の研究を俟たんとす。



# 簡易水球規則による試合に就て

日本水上競技聯盟

笹島彦次郎

女子水泳體育祭の行はれるのを機會に、本年試みに作成された、簡易水球規則による初めての試合が女子により行はれると云ふ話を聞いて大に興味を持つて期待して居たのである。

此の新しい簡易規則なるものを作成した第一の目的と云ふものは、成るべく多くの人達に水球競技を擴めるのが元來の目的なのである。それがため、多少規則を寛大にして（具體的に例を引けば兩手にて球を扱ふを許すとか、水底の歩行を許すとか云ふ様な點に於て）。初心者に入り易くしたものであり、又同時に反則等を簡明にして、徒に規則の解釋に頭腦を悩まさせない様にと考へて作成したのである。そして又餘りに、水球競技として變形してしまわぬ様に人數時間等は大体一般規則とかけ離れぬ様にと敢へて著しい改變は行はなかつたのである。

云ひ替へれば、技術が拙くとも、體力が不十分でも競技に不慣れでも、一樣に水球競技の面白味或は快味と云つた様なものを味ひ得る様にとの考へであつた。元來水球競技は入り難く大成し難い競技である一般に専門學校入學後始めたものでは卒業間際になつてやうやく優秀選手の仲間入りが出来る程度である。その上、現在の日本の社會狀勢として、卒業生の競技参加は特別な場合を除くの外先づ殆ど不可能と見てよいのである。して見れば、水球競技は常に同一範圍内に居り、一步も前進する可能性がないと云ふことになる。何故なれば専門學校入學後にその第一歩から出發するからである。少くとも中等學校に於て既に大体の概念を得技術を修得して居つたならば直に本格的練習に入り得、結局之が一般水球競技の水準を向上せしめることとなるのである。

依て中等學校に水球競技を擴める目的として競技の奨励法が講じられて居る。即ち本年實現した、加盟團體別地方優勝校への優勝トロフィー寄贈である（七團體）。之に依つて中等學校に水球競技の普及發展するのを徒に待つて居るわけには行かないのである。更に一層積極的に、小學兒童に迄呼びかけて、一般水球競技を行ふ第一の準備として簡易規則により競技の概念、競技法、作戦、或種の技術（勿論、

種々相違した點はあるが）等を習得せしめる目的で作られたものである。決して兒童の水上遊戯として行はしめるのが眞のそして、唯一の目的ではないのである。

扱て、東京わかば會對横濱水泳協會によつて歴史的試合が行はれた。結果は三對〇でわかば會の勝となつた。却々の好試合であつたが、實力の差で、パスに動きに勝り、且つ得點決め手が居り、上手なゴールキーパーの居たわかば會の勝利は極めて順當であつた。然し兩軍共に多年の水泳技術練磨により、吾々から見れば、齒搔い、今一と息きと云ふ點が、處々にあつたとは云へ、短時日の練習としては見事な技倆を示したものとして頼もしく思はれた。今後一層斯競技の爲並び立つて開拓者として技を練り大に本競技に精進され進んでは、一般規則による競技をすら目標とされん事を望むものである。

本試合の成功を見て簡易規則作成に關係した一員として大に喜ぶ次第である。

但本規則作成目的に關し解釋上誤解を持たれた向のあつた事は呉れ呉れも残念であつた。

扱て簡易規則を遊戯用（特に遊戯と稱へる）として用ふるのは多少の無理があるものと考へられる。何故なれば、例へ簡易とは云へ、水球の競技規則である以上競技により、勝負を争ふ様に出來て居るのである。笛聲と同時に終了すべき筈の小學兒童の球入競技に於てすら、笛聲後尙容易に投球が止まなかつたのを見ても（女子大會當日兒童球入れ競技所見）勝負を争ふ以上勝たんが爲に或種の（正、不正の判斷は審判員の見解に待つべきである）技術（その技術たるや、一般水球競技に於ては公然と行はれて居るもの）を用ひたとしても、何等非難には當るまいと考へられ、却つて前述の通り、技術の接近を歓迎すべきである。

依つて今回の女子による試合の成績よりして、吾々の作つた簡易規則なるものが、使命達成上充分なる効果を擧げて居ると確信し得たのである。

一言以て簡易水球規則の指導目標を明示する次第である。

# 全國中等學校選拔選手夏期合宿練習報告



川 合 嘉 助

時 日——8月9日—8月21日  
 場 所——甲子園プール（長サ50米 巾25米）  
 宿 舎——甲子園アパート都館  
 監督指導員——齊藤巍洋、竹林隆二、井上茂、川合嘉助

選手 28名

## 自由形

山下欣一（濱一中）、彌津三郎（静岡中學）、園盛保（濱一中）、松山正一（中泉農）、金子榮一郎（濱松農蠶）、關新太郎（湊商業）、小柳清志（中京商）、宮本茂（多度津中）、小野猛夫（京二商）、岩田務（岐阜商）、小倉彌太郎（和歌商）、太田光雄（中京商）、淺野俊雄（中京商）、太田忠勝（都島工）、中町道廣（高知商）

## 背 泳

長谷川黄一（函館商）、藤井敬次郎（濱一中）、大杉信孝（中泉農）、松本進（松山商）、谷口五郎（廣島二中）、服部義治（津島中）

## 平 泳

田畑三郎（京二商）、松原正次（耐久中）、松田隆吉（高知城東商）、加藤久男（袋井商）、小幡令二（濱一中）、深野富雄（早實）、吉田勇（和歌山商）

## 日 課

### 午 前

6.30 起 床

7.00 皇大神宮並宮城遙拜 宿舍ヨリ約二丁離レ  
 體操 タル松林ニテ行フ

7.00 朝 食

9.00 出 發 往復ハ2列ニテ整列進行セシム

9.20 練習（1時間20分） 練習前後ニハ必ず約10分體操ヲ行フ

11.00 歸 舎

12.00 晝 食

### 午 後

2.00 出 發

2.20 練 習（1時間30分）

4.00 歸 舎

5.00 夕 食（食後ノ散歩約30分ヲ許ス）

7.00 注意、訓話

9.00 消 燈

備考 選手多數の爲約1時間20分前後にて練習を完了するは相當困難なる事なるも既に春の經驗ある爲選手は良く心得て待期する良習慣を作れり、練習前後約十分の體操並オーミングアップ等は練習狀況には省略せり、指導班は協議豫定表を作製しこれを實施せしも齊藤巍洋氏主任となり時に幾分變更せし事あり、レース前2日間は水換への爲プール使用出來ざれば海岸プール（25米）を使用せり。又プール混雜の爲自由に練習出來ざる事もありたり。

月 日	午 前 練 習 状 況	午 後 練 習 状 況
8 9		6時各自随意400米を泳がしむ
" 10	ビーティング約10分を2回（足の矯正） 50米のダツシュ2回	ビーティング15分1回300米1回（足の矯正） ダツシュ50米2回
" 11	ビーティング10分を1回（足の矯正） 50米2回200米	
" 12	100米、巾25米を10分力泳 200米ビーティング100米	400米ビーティング400米、100米1回、25米ダツシュ2回
" 13	（自長）200米、（自短）100米、（平泳）100米、（背泳） 50米、ビーティング200米、50米ダツシー2回	（自）400米タイム、（背）100米タイム、（平）200米タイム、 （自長）200米タイム、（自短）100米タイム、（背）50米タイム、 （平）100米タイム、ビーティング200米、50ダツシュ1回25、2回

8	14	休	養
"	15	(自短、背、平) 50米 10分間力泳、(自長) 15 分間力泳、ビーテイング 200 米、50 米、2 回	(自短) 200 米、(自長) 800 米、(平) 400 米、(背) 200 米、(平背) 200 米ビーテイング、(自短) 200 米ビーテイング、(自長) 100 米、25 米ダツシュ 2 回
"	16	(自短) 400 米、(自長) 800 米、(背) 100 米、(平) 200 米、50 米ダツシュ自由 3 回平背 2 回	(背) 200 米、(平) 400 米、(自長) 800 米、(自短) 400 米ビーテロング、(平背) 200 米、(自長) 200、(自短) 100、25 米ダツシュ 3 回
"	17	100 米、(自短、背平) 5 分間力泳、(自長) 10 分間力泳、ビーテイング 200 米、100 米	(平) 200 米、(背) 100 米、(自短) 400 米、(自長) 800 米 (平) 400 米、(背) 400 米、(自短) 400 米、(自長) 4000 米ビーテイング、(自短背、平) 200 米ビーテイング、ダツシュ 25. 2 回
"	18	(平) 100 米力泳、(背) 50 米、(自短) 200 米、(自長) 400 米、(自短、背平) 5 分間力泳、(自長) 400 米ビーテイング、(自短、平背) 20 米ビーテイング 50 米ダツシュ 2 回	100 米、(自短平、背) 5 分間力泳、(自長) 10 分間力泳ビーテイング 2 分間、50 米ダツシュ 2 回
"	19	(自短、平背) 100 米、(自長) 200 米、ビーテイング 200 米、50 米ダツシュ 1 回	レースに出場
"	20	100 米、100 米ビーテイング	"
"	21	100 米位、各自随意	"

1 週間置きにレースが重なつたので選手は相當精神的にも肉體的にも疲労が見受けられたのと無理な泳ぎをした爲か手足の調和が亂れて居るので始めは氣輕い足の矯正練習に努め除々に調子を出さうと計劃した。15, 6 日頃には水に乗つた美しいホームも見へ記録も次第に上て來た。

自由形 100 米 山下、彌津 61 秒臺  
 小柳 62 秒臺  
 200 米 宮本 2 分 16 秒臺  
 他選手は 21 秒~23 秒位  
 400 米 宮本 4 分 57 秒臺  
 岩田 5 分 4 秒  
 淺野、太田 他 5, 6 秒臺  
 800 米 岩田 10 分 24 秒臺  
 淺野 10 分 27 秒臺  
 背泳 100 米 松本 1 分 11 秒臺  
 谷口 1 分 13 秒  
 他選手は 15, 6 秒臺

平泳 200 米 田畑、加藤 52 秒臺

以上のやうな参考記録であつたので選手權大會までには何んとか 4, 5 人位ひは潛り込めるかと思つたが豫選よりは準決と進むに従つて記録は次第に下り期待は裏切られてしまつた。流石に全日本選手權大會だオリンピック豫選だ選手はこの名前硬くなつたのか遂に良い調子も出せずして終つた。僅かに宮本、田畑等の活躍を賞しつゝ慰めとしたが折角御後援下さいました各位に對しては誠に申譯ない事を深く詫び居る次第であります。私共は指導の効果が直ちに現れ其れが長く持續するやうに努力したが重責

の萬分の一をも盡し得ざりしは遺憾な事であつた。而し合宿練習中餘り立派な記録も出せず常に霞んで居た若い選手が其後相當な成績を現した事は指導の効果が後日現れたのだと密かに喜んで居る。この實例を挙げれば静岡縣下の大會に濱一中の小幡、藤井の兩君は平泳と背泳に又濱農蠶の金子君は 400, 800 米に於て堂々多くの先輩を見事に破つて優勝した。共に皆 1 年生と云ふ若輩の若である。このやうな例は他にも澤山ある事を願つて居る、キリストは多くの人々の中から特に無學と云ひ得る人を選んで弟子とした。これは無學を買つたのではなく田舎育ちの純眞を買つたのであらう。中等學生も 1 年生、2 年生の中は何んと云つても眞面目であるがそれが教育されるに従つて益々眞面目さを一層増す可きであるが事實はこの反對で多數の生徒は所謂生意氣、不眞面目となつて來る誰れでもこの點は良く氣付いてゐるが多くの人々否人間と云ふ者は誰れでも出來得る事を完全に成就出來難いものである巢立つ中等學校選手は充分御注意を願ひ度い。又選手が特に選抜されて合宿練習に加はる事は選手の大名譽であると共に彼等の最も得意とする所である従つて選手は相當強い決心を持ち張り切つて集まるから苦しい練習も完了する事が出来る。然し合宿終了後即ち緊張後の緩みは恐るべきものであつて 100 日の努力も 1 日にして消へた多くの實例は常に吾人に何事か尙指導の點に缺けたるを暗示して居る。私共は約 2 週間の合宿練習中常にこの何事が如何なるものであるかを索し求めて居た否 1 年も 2 年も 3 年も尋ね喘ぎ研究を續けて居る。

## 出征乃至入營中の本聯盟役員

- 藤原 豊 中支派遣軍久納部隊、馬淵部隊、橋本隊  
 安永 弘 南支派遣久納部隊氣付、南里部隊  
 栖原 正 仙臺陸軍豫備士官學校内  
 林 慶二郎 北支派遣徳川部隊氣付、山瀬部隊、中村隊  
 石川 金繼 千葉縣市川市國府臺陸軍病院、第一外科、  
 第二病棟5番室  
 若山 瀧美 牛込區川田町、陸軍經理學校幹部候補生隊  
 猿橋 清 世田谷區陸軍自動車學校菱田部隊、齋藤隊  
 中島 利世 中支派遣松浦部隊、市川部隊、戸崎隊  
 島崎 保正 上海派遣軍藤田部隊、本部附  
 三橋 達郎 名古屋輜重兵第三聯隊、第二中隊、第五班  
 遠藤 信男 甲府市歩兵第四十九聯隊  
 岩切 盛行 歩兵中尉(戦死)  
 前評議員 小林榮三(出征)、川口又男(出征)  
 前理事 馬渡勇藏(出征)、島崎保正(出征)  
 藤原 豊(出征)、安永 弘(出征)  
 見田公一(出征)、岡本勁一(出征)  
 競泳競技委員 根上 博(出征)、栖原 正(入營)  
 梅田利兵衛(入營)、小森正巳(出征)  
 河石達吾(應召)、市橋萬之介(應召)  
 大横田勉(出征)、大井忠紀(出征)  
 河津憲太郎(應召)  
 飛込競技委員 山田謙二郎(入營)、林慶二郎(出征)  
 石川金繼(出征)  
 水球競技委員 藤岡隆司(出征)、坂上安太郎(入營)  
 遠藤信男(出征)、田野耕清(出征)  
 木村清共衛(應召)、磯部義介(出征)  
 黒川民夫(出征)、松本隆重(出征)  
 勝 修三(出征)、中島利世(出征)  
 佐々木秀一(出征)、村井清(出征)  
 若山瀧美(入營)、小出靖彦(應召)  
 指導普及委員 猿橋清(出征)  
 小學校委員 西本秀雄(出征)

猶元氣で出征活躍中の水聯関係者諸君より、次の様な御便りが参つて居ります。(順序不動)  
 其の後も皆様御元氣の事と存じます。  
 入營以來二旬、練兵されていゝ兵隊らしくなりました。特務兵では威張れないが、名古屋市街を潤歩すると自動車でもよけてゆくから愉快です。  
 星一つでも街を歩くと敬禮される事がよくあり少々面喰ふ程です。但し自分が先にする方が多いです。現在は本部に来て事務をとつてゐるので寒風にさらされる事もなく温室育ちの兵隊です。當分は戦地に

行く氣配もなくいとも朗かです。

名古屋輜重兵第三聯隊、第二中隊、第五班

三橋 達郎

前略 御無沙汰致しました。田舎選手が初の試合に上京する時の様な氣持で戦地に来て見ましたが、こちらは、すごく暑く又蠅が多く、生水が飲めないので弱つて居ります。内地を出て来る時は支那のクリークで、どンドン泳いでやろうと思つて居たが、まだそれも出来ません。聯盟も忙しい事でせう。皆さんによろしく。

中支派遣軍牛島部隊、馬淵部隊、橋本隊

藤原 豊

拜啓 皆様お變りもございませんか、小生先月初旬急に出征いたす事に相成六日出發當〇〇地に参りました。途中東京オリムピック中止のニュースに接し、かゝる時勢の折柄致し方無き事とは云ひ乍ら眞に残念に存じました。皆様方の御落膽もさぞやと御察し申上ます。目的こそ違へ何卒今後とも御精進あらん事お祈りいたします。草々

北支派遣徳川部隊氣付、山瀬部隊、中村隊

林 慶二郎

朝メシを東京で食ひ晝飯は福岡、晩メシは上海便利は便利だが今日か昨日か一寸見當がつかぬ、明朝飛行機で南京に行き、船に乗る。今から福民病院の小山君に注射をして貰ひに行く所です。インターカレッジとはドコに勝つて貰ひたいといふ注文はないが早慶立日の間で天晴れの戦が展開されることこそ望ましく存ぜられ候。漢口が陥落したら歸る豫定です。

上京ブロードウェイマンションホテル

田畑 政治

御機嫌お伺ひ申し上げます。忙しきまゝに久しく御無沙汰致し申譯ござゐません。此の度留守宅より飯田光太郎氏御永眠の報に接しましたが小生まさかとは存じますが事實でせうか？ 小生お蔭様にて無事第一線に活動致して居ります。

滿洲國黒河村井部隊

村井 清

トン、ヒューツ、バリンと云ふ砲彈(敵の)の音は大分氣味の悪いものです。百雷の一時に落ちると云ふ砲撃の形容は事實です。

幸に身體は丈夫です。クリークの水も井戸の水も濁つてゐて水が不自由なのが何より閉口です。小林さんも出て來られる由その中會へるかも知れません。

# 昭和十三年度 定例代議員議事録

昭和十三年八月二十日 於 甲子園ホテル

## 出席者

## 日本水上競技聯盟

所 屬 氏 名

N. S. R. 會長 末弘嚴太郎  
 評議員 田畑政治  
 同 杉本傳  
 同 足立祐次  
 同 奥野良  
 名譽主事 野田一雄  
 理事 松浦武雄、笹島彦次郎

日本學生水上競技聯盟 藤田明、小山賢之助  
 古莊次平、守田萬  
 宮田健夫、野口務  
 横尾清吾、影島理  
 圓尾誠志、河原田嚴  
 大内義仁

清水康男、宍道洋一  
 深谷俊明、三橋達郎  
 高石勝男、菅谷初穂  
 原秀夫

北海道水上競技聯盟 鹽田正典  
 福島縣體育協會 保谷俊平  
 關東水泳協會 根來幸成、磯野百男  
 横濱水泳協會 白山源三郎  
 野尻湖游泳協會 高橋庄之助  
 松本水泳協會 小林高志  
 靜浦游泳協會 齋藤亨  
 濱名灣游泳協會 牧野敏一、竹林隆次  
 川合嘉助  
 名古屋水上競技聯盟 天野重朗、齋藤劍次  
 三重水泳聯盟 垂髮猛雄  
 京都水上競技聯盟 安養寺顯三、木村象雷  
 大阪水泳協會 上野克巳、船倉康郎  
 大谷親之輔

兵庫縣體育協會 宮本伯夫  
 和歌山縣體育協會 角野唯夫、貴志重雄  
 前川重樹  
 松江體育協會 小具鍊  
 廣島縣體育協會 高橋雅紀、鎌田壽夫  
 德島水上競技聯盟 中山健介  
 福岡水泳協會 田中幸生  
 臺灣體育協會 藤本秀松  
 山口縣體育協會 齋藤崑洋  
 群馬縣體育協會 松澤一鶴

### 缺席加盟團體

委任狀提出しあるもの

岩手水泳協會	山形縣體育協會
茨城縣體育協會	千葉縣水泳聯盟
新潟縣水泳協會	富山縣體育協會
石川縣體育協會	岡山縣體育協會
愛媛縣體育協會	朝鮮體育協會

委任狀提出無きもの

宮城水泳協會	香川縣體育協會
高知縣體育協會	長崎縣水泳協會
白杵體育協會	熊本縣體育協會
滿洲體育協會	

出席團體 (委任狀を含む) 三十二  
 缺席團體 七

議事 ( ) は發言者又は報告者を示す。

- 一、點呼
- 二、出征諸役員並に皇軍將士武運長久祈念
- 三、會長挨拶
- 四、前回議事録確認の件(野田)可決  
 今後毎回代議員會に於て確認を繰返すことなく、  
 理事會に於て確認し所要の手續を取る事とする旨  
 の提案(白山)あり可決
- 五、報告承認

- イ、1. オリンピック東京大會中止報告(田畑)  
2. 物資統制に伴ふ水上競技用具節約趣旨徹底の件(末弘會長)

- ロ、オリンピック選手強化事業(田畑)  
1. 第一回男子中等學校選抜選手合宿練習  
場所 阪神甲子園プール(室内二五米)  
期日 昭和十三年三月二十五日より四月七日迄(中等十傑を中心とする合宿)  
2. 女子部合宿練習(Bクラス以上)  
3. 學生選手(競泳飛込Cクラス以上、水球日本代表軍)

場所 東京帝國大學プール(室内二五米)

期日 自四月五日至同二十日

4. 水球コーチ、フロインド氏招聘並に合同練習の件

イ、期日 六月一日より同十三日 於 神宮

ロ、 六月十六、七日 於 甲子園

5. 第二回男子中等學校選抜選手合宿

場所 阪神甲子園プール

期日 七月九日より同十八日

ハ、指導普及事業(松澤)

1. 水球簡易規則制定(別紙参照)(笹島、古莊)
2. 水泳指導研究會開催
3. 指導者習會開催
4. 指導者資格檢定試験實施
5. 水泳指導者協會設立
6. 水泳指導映畫作成
7. 水泳普及映畫講演會開催

ニ、建設測定事業(松澤)

1. 水泳池公認(水泳記事参照)
2. 公認水泳池建設に関する Pamフレット發行

ホ、諸競技會計畫並に實施(野田、松澤)

1. 中等學校選抜選手並に女子選手記録會
2. 學生選手記録會
3. 第一回團體長距離競泳全國大會  
初島一熱海 八月七日
4. 第二回全國實業團選手權水上競技大會計畫
5. 全國小學校教員水上競技大會計畫
6. 第三回日本女子中等學校水上競技大會計畫
7. 國民皆泳全國學童水泳大會

ヘ、賞牌に関する報告(野田)

A. 受領の分

1. 厚生大臣盃(團體長距離競泳)
2. 海軍大臣賞( 同 )
3. 特別賞盃( 同 )

イ、西郷候爵、熱海市長、末弘會長

B. 寄贈せる分

1. 中等水球地方大會優勝牌 七組

寄贈先(順序不同)

關東水泳協會、横濱水泳協會、名古屋水上競技聯盟、京都水上競技聯盟、大阪水泳協會、兵庫縣體育協會、廣島縣體育協會

2. 全國高等專門學校選手權水上競技大會

優勝牌一個寄贈先、日本學生水上競技聯盟

ト、諸會合報告(野田)

- |                |     |
|----------------|-----|
| 1. 臨時代議員會      | 一回  |
| 2. 理事會         | 四回  |
| 3. 常務理事會       | 一〇回 |
| 4. オリンピック準備委員會 | 六回  |
| 5. 評議員會        | 一回  |
| 6. 水球競技委員會     | 一〇回 |
| 7. 飛込競技委員會     | 七回  |
| 8. 女子部委員會      | 五回  |
| 9. 指導普及委員會     | 六回  |
| 10. 建設測定委員會    | 十一回 |
| 11. 遠泳準備委員會    | 五回  |
| 12. 其他         | 五回  |

チ、刊行物出版事業(野田)

1. 昭和十三年水泳年鑑發行
2. 機關誌「水泳」第五五號より第五七號迄發行
3. 水泳簡易規則

リ、競泳選手クラス詮衡(別掲記事参照)

ヌ、昭和十三年度會計報告(奥野)

名譽會計大橋國太郎氏病氣の爲前名譽會計奥野良氏より會計報告あり詳細なる監査につきては理事會に一任さる

六、議案

イ、役員改選の件(野田)

末弘會長に其人選を一任し改めて臨時代議員會を召集の上承認を得ること

ロ、事業計畫(野田)

A. 競技會

1. 昭和十四年度日本選手權水上競技大會
2. 第四回日本女子中等學校水上競技大會
3. 第三回全國實業團選手權水上競技大會
4. 第三回小學校教員水上競技大會
5. 第二回團體長距離競泳全國大會
6. 國民皆泳第二回全國學童水泳大會
7. 第八回明治神宮體育大會水上競技大會
8. 第三回日米對抗水上競技大會(田畑)

右諸大會の期日については、日米大會を開催すると否とにより異なるを以つて日米大會の交渉を直に



開始しその都合により適宜決定することを理事会に一任せらる。

B. 選手強化事業計画 (田畑) 承認

東京大會中止となり、ヘルシンキに選手を派遣することも體協の方針は未だ決定せず、されど本聯盟としては少くともロサンゼルスに派遣したチーム位のものはヘルシンキに派遣する意圖を以て既定方針通り強化事業を繼續する。

C. 普及事業計画 (松澤)

1. 指導者講習會
2. 指導者資格檢定
3. 水泳指導者資格所與推薦の件

各加盟團體に於て長老として水泳のことに詳しい方を御推薦願ふ事、若い方々は進んで試験を受けて戴く事等の希望が松澤委員より提出せらる。

ハ、昭和十三年度會計決算案承認の件

昭和十四年度豫算案立案の件

右は前記報告事項の通り理事会に付託

ニ、特別委員會設置の件 (田畑) 承認

水難防止委員會設置

ホ、飛込競技規定改正の件 (原)

オリンピック競技規定の中規定飛の項が改正せられ之に伴ひ本聯盟の競技規定も改正を要し、飛込委員會に右改訂方を一任す。

ヘ、地域事業執行機關設置の件 (田畑、野田)

本聯盟の事業の擴大に伴ひ、諸種の競技會をスムーズに行ひ全国的に斯道の普及を計る意味に於て聯盟規約其の他には何等變更を加へざるも大阪に N. S. R. の地方委員會を設くるの件、承認。

ト、聯盟バツヂ頒布に關する件、承認

一時中止其後その必要なるに鑑み、復活せしむる事とし、加盟團體に實費にて頒つこととす。

## 聯 盟 日 誌

8月16日	水球競技委員會	事務所	6日	學聯飛込委員會	事務所
19日	競泳池公認委員會	事務所	8日	飛込委員會	事務所
23日	實業團大會プログラム編成會	事務所		學聯登録管理委員會	事務所
	小學校委員會	事務所	9、10、11日	關東學生大會兼日本學生豫選會	神宮プール
26日	競泳池公認委員會	事務所	10日	日本學生飛込打合會	事務所
26、27日	全國實業團選手權水上競技大會	神宮プール	17、18日	日本學生選手權水上競技大會	神宮プール
28日	國民皆泳ラヂオ全國學童大會	神宮プール	20日	三都市對抗打合會	事務所
31日	理事会	事務所		飛込競技委員會	事務所
	競泳池公認委員會	事務所	21日	常務理事会	事務所
	小學校大會役員會	事務所	22日	小學校委員會	事務所
9月 2日	水泳誌 58 號發行す(各地發送)		23日	秋期關東水球リーグ戰	
	東京小學校大會プログラム編成會	事務所		メンバー交換打合會	事務所
4、5日	東京小學校水泳大會	神宮プール	26日	競泳池公認委員會	事務所
			26日	小學校委員會	事務所

日本水上競技  
聯盟機關雜誌

水 泳

第 59 號

昭和十三年十二月五日 納 本

昭和十三年十二月八日 發 行

(日本水上競技聯盟代表)

編輯兼發行人 矢 道 洋 一

印 刷 人 米 田 眞 二

印 刷 所 改 洋 社

東京市豊島區巢鴨1丁目3番地

定價30錢 年8回發行豫定・8回分 ¥2.40

豫約申込者に限り頒布す(年租金豫約は送料不要)

廣 告 料 10圓乃至35圓 御申込次第詳細問答

發 行 並 東京市麴町區丸ビル581

申 込 所 日本水上競技聯盟編輯事務所

振替口座東京三九九一九番